

学校部活動の円滑な地域移行に向けた
新たな地域スポーツ・文化活動の環境の整備
に関する検討報告書

令和7年2月17日

八戸市地域スポーツ・文化活動検討協議会

～目次～

I 国の動向、県取組

- 1 国の動向・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
 - (1) 現行の中学校学習指導要領（平成 29 年告示）における部活動の位置付け
 - (2) これまでの主な経緯
 - 【学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン（令和 4 年 12 月スポーツ庁・文化庁）】
- 2 県の取組・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
 - (1) 推進計画及び指針の策定
 - 【学校部活動及び新たな地域クラブ活動の指針（令和 6 年 3 月県教育委員会）】
 - (2) 県教育委員会の実際の取組
 - 【地域スポーツ活動・学校部活動指導者人材バンク】

II 本検討協議会におけるこれまでの協議の概要

- 1 これまでの協議の経緯・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
 - (1) 令和 5 年度の取組と協議の状況
 - (2) 令和 6 年度の取組と協議の状況
- 2 アンケート調査結果概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
 - (1) アンケート調査について
 - (2) アンケート調査結果概要
- 3 合同部活動報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
 - (1) 合同部活動について
 - (2) 合同部活動実践報告書

III 今後の検討事項（案）

- 1 本検討協議会におけるこれまでの協議から・・・・・・・・・・・・・・・・ 36
- 2 「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」
中間とりまとめ等から・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39
 - 【「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」
中間とりまとめ】
 - 【部活動改革に伴う学習指導要領解説の見直しについて（概要）
（令和 6 年 12 月スポーツ庁・文化庁・文科省）】

* 備考

- 市教育委員会・市観光文化スポーツ部発出 児童生徒及び保護者用
リーフレット（令和 5 年 12 月、令和 6 年 12 月）・・・・・・・・・・・・ 45
- 八戸市地域スポーツ・文化活動検討協議会委員一覧・・・・・・・・・・・・ 47

I 国の動向、県の取組

1 国の動向

(1) 現行の中学校学習指導要領（平成 29 年告示）における部活動の位置付け

第 1 章 総則

第 5 学校運営上の留意事項

1 教育課程の改善と学校評価、教育課程外の活動との連携等

ウ 教育課程外の学校教育活動と教育課程の関連が図られるように留意するものとする。特に、生徒の自主的、自発的な参加により行われる部活動については、スポーツや文化、科学等に親しませ、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等、学校教育が目指す資質・能力の育成に資するものであり、学校教育の一環として、教育課程との関連が図られるよう留意すること。その際、学校や地域の実態に応じ、地域の人々の協力、社会教育施設や社会教育関係団体等の各種団体との連携などの運営上の工夫を行い、持続可能な運営体制が整えられるようにするものとする。

(2) これまでの主な経緯

- 「新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築のための学校における働き方改革に関する総合的な方策について」（平成 31 年 1 月中央教育審議会答申）

→特に、中学校における教師の長時間勤務の主な要因の一つである部活動については、地方公共団体や教育委員会が、学校や地域住民と意識共有を図りつつ、地域で部活動に代わり得る質の高い活動の機会を確保できる十分な体制を整える取組を進め、環境を整えた上で、将来的には、部活動を学校単位から地域単位の取組にし、学校以外が担うことも積極的に進めるべきである。

- 公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法の一部を改正する法律案に対する附帯決議（令和元年 11 月衆議院、12 月参議院）

→政府は、教育職員の負担軽減を実現する観点から、部活動を学校単位から地域単位の取組とし、学校以外の主体が担うことについて検討を行い、早期に実現すること。

○「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について」（令和２年９月スポーツ庁・文化庁・初等中等教育局事務連絡）

→休日の部活動における生徒の指導や大会の引率については、学校の職務として教師が担うのではなく地域の活動として地域人材が担うこととし、地域部活動を推進するための実践研究を実施する。その成果を基に、令和５年度以降、休日の部活動の段階的な地域移行を図るとともに、休日の部活動の指導を望まない教師が休日の部活動に従事しないこととする。

○運動部活動の地域移行に関する検討会議提言（令和４年６月スポーツ庁）

文化部活動の地域移行に関する検討会議提言（令和４年８月文化庁）

○学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン（令和４年１２月スポーツ庁・文化庁）【Ｐ３～Ｐ７参照】

→学校部活動の適正な運営や効率的・効果的な活動の在り方とともに、新たな地域クラブ活動を整備するために必要な対応について、国の考え方を提示

→令和５年度から令和７年度までの３年間を「改革推進期間」として地域連携・地域移行に取り組みつつ、地域の実情に応じて可能な限り早期の実現を目指す

○地域クラブ活動への移行に向けた実証事業の展開

令和５年度 ３３９ 市区町村

令和６年度 ５１０ 市区町村

（予定）令和７年度 ９００ 市区町村

○地域文化クラブ活動への移行に向けた実証事業の展開

令和５年度 ９３ 市区町村

令和６年度 １６２ 市区町村

（予定）令和７年度 ４００ 市区町村

○地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議における協議【Ｐ４０～Ｐ４２ 中間とりまとめ参照】

→「改革推進期間」終了後（令和８年度以降）の改革の方向性や総合的な方策を検討

→令和７年春に最終とりまとめを行う予定

○部活動改革に伴う学習指導要領解説の見直し（令和６年１２月改訂・通知）【Ｐ４３～Ｐ４４ 参照】

学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する 総合的なガイドライン【概要】

- 少子化が進む中、将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保するため、速やかに部活動改革に取り組む必要。その際、生徒の自主的で多様な学びの場であった部活動の教育的意義を継承・発展させ、新しい価値が創出されるようにすることが重要。
 - 令和 4 年夏に取りまとめられた部活動の地域移行に関する検討会議の提言を踏まえ、平成 30 年に策定した「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」及び「文化部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」を統合した上で全面的に改定。これにより、学校部活動の適正な運営や効率的・効果的な活動の在り方とともに、新たな地域クラブ活動を整備するために必要な対応について、国の考え方を提示。
 - 部活動の地域移行に当たっては、「地域の子供たちは、学校を含めた地域で育てる。」という意識の下、生徒の望ましい成長を保障できるよう、地域の持続可能で多様な環境を一体的に整備。地域の実情に応じ生徒のスポーツ・文化芸術活動の最適化を図り、体験格差を解消することが重要。
- ※Ⅰは中学生を主な対象とし、**高校生**も原則適用。Ⅱ～Ⅳは**公立中学校の生徒**を主な対象とし、高校や私学は実情に応じて取り組むことが望ましい。

Ⅰ 学校部活動

教育課程外の活動である学校部活動について、実施する場合の適正な運営等の在り方を、従来のガイドラインの内容を踏まえつつ示す。

(主な内容)

- ・**教師の部活動への関与**について、法令等に基づき**業務改善や勤務管理**
- ・**部活動指導員**や外部指導者を確保
- ・心身の健康管理・事故防止の徹底、体罰・ハラスメントの根絶の徹底
- ・**週当たり 2 日以上**の**休養日**の設定（平日 1 日、週末 1 日）
- ・部活動に強制的に加入させることがないようにする
- ・地方公共団体等は、スポーツ・文化芸術団体との連携や保護者等の協力の下、**学校と地域が協働・融合した形で環境整備を進める**

Ⅱ 新たな地域クラブ活動

学校部活動の維持が困難となる前に、学校と地域との連携・協働により生徒の活動の場として整備すべき新たな地域クラブ活動の在り方を示す。

(主な内容)

- ・地域クラブ活動の運営団体・実施主体の整備充実
- ・**地域スポーツ・文化振興担当部署や学校担当部署、関係団体、学校等の関係者を集めた協議会**などの体制の整備
- ・指導者資格等による質の高い指導者の確保と、**都道府県等による人材バンクの整備、意欲ある教師等の円滑な兼職兼業**
- ・競技志向の活動だけでなく、**複数の運動種目・文化芸術分野など、生徒の志向等に適したプログラム**の確保
- ・休日のみ活動をする場合も、原則として**1 日の休養日を設定**
- ・公共施設を地域クラブ活動で使用する際の負担軽減・円滑な利用促進
- ・**困窮家庭への支援**

Ⅲ 学校部活動の地域連携や

地域クラブ活動への移行に向けた環境整備

新たなスポーツ・文化芸術環境の整備に当たり、多くの関係者が連携・協働して段階的・計画的に取り組むため、その進め方等について示す。

(主な内容)

- ・**まずは休日**における地域の環境の整備を着実に推進
- ・**平日の環境整備はできるところから**取り組み、休日の取組の進捗状況等を検証し、更なる改革を推進
- ・①市区町村が運営団体となる体制や、②地域の多様な運営団体が取り組む体制など、**段階的な体制の整備を進める**
 - ※地域クラブ活動が困難な場合、合同部活動の導入や、部活動指導員等により機会を確保
- ・**令和 5 年度から令和 7 年度までの 3 年間を改革推進期間**として地域連携・地域移行に取り組みつつ、地域の実情に応じて**可能な限り早期の実現を目指す**
- ・都道府県及び市区町村は、方針・取組内容・スケジュール等を周知

Ⅳ 大会等の在り方の見直し

学校部活動の参加者だけでなく、地域クラブ活動の参加者の二一ズ等に応じた大会等の運営の在り方を示す。

(主な内容)

- ・大会参加資格を、**地域クラブ活動の会員等も参加できるような見直し**
- ※日本中体連は令和 5 年度から大会への参加を承認、その着実な実施できるだけ**教師が引率しない体制の整備**、運営に係る適正な人員確保
- ・**全国大会の在り方の見直し**（開催回数数の精選、複数の活動を経験したい生徒等の二一ズに対応した機会を設ける等）

学校部活動

【位置付け】学校教育の一環（教育課程外）

指導者	当該校の教師
参加者	当該校の生徒
場所	当該校の施設
費用	用具、交通費等の実費
補償	災害共済給付



学校部活動の地域連携

■ 合同部活動の導入や部活動指導員等の適切な配置により生徒の活動機会を確保

指導者	部活動指導員等、関係校の教師 (※アスリート・アテイト等の人材を含む)
参加者	関係校の生徒
場所	拠点校の施設
費用	用具、交通費等の実費
補償	災害共済給付

■ 少子化の中、持続可能な体制にする必要（学校や地域によっては存続が厳しい）

■ 地域の実情に応じた段階的な体制整備

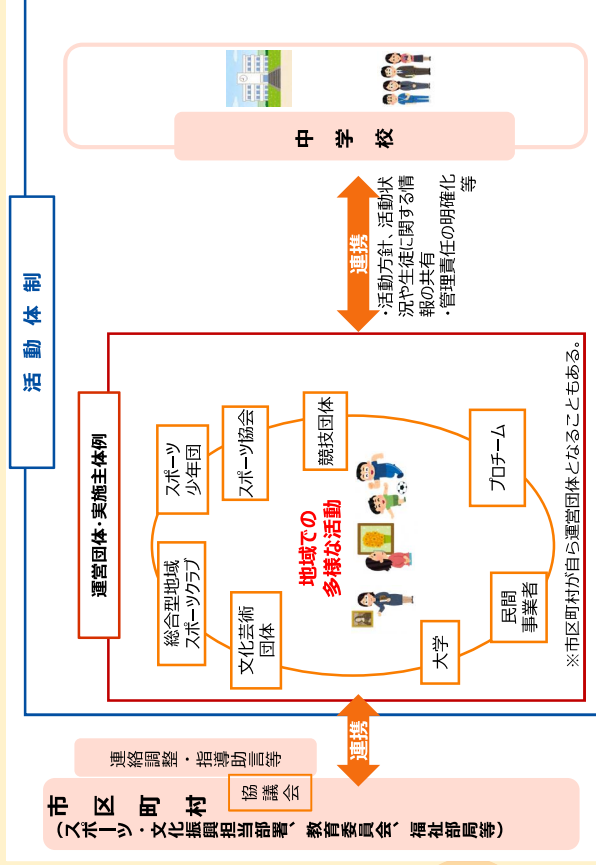
地域の実情に応じ、当面は併存

休日の地域クラブ活動

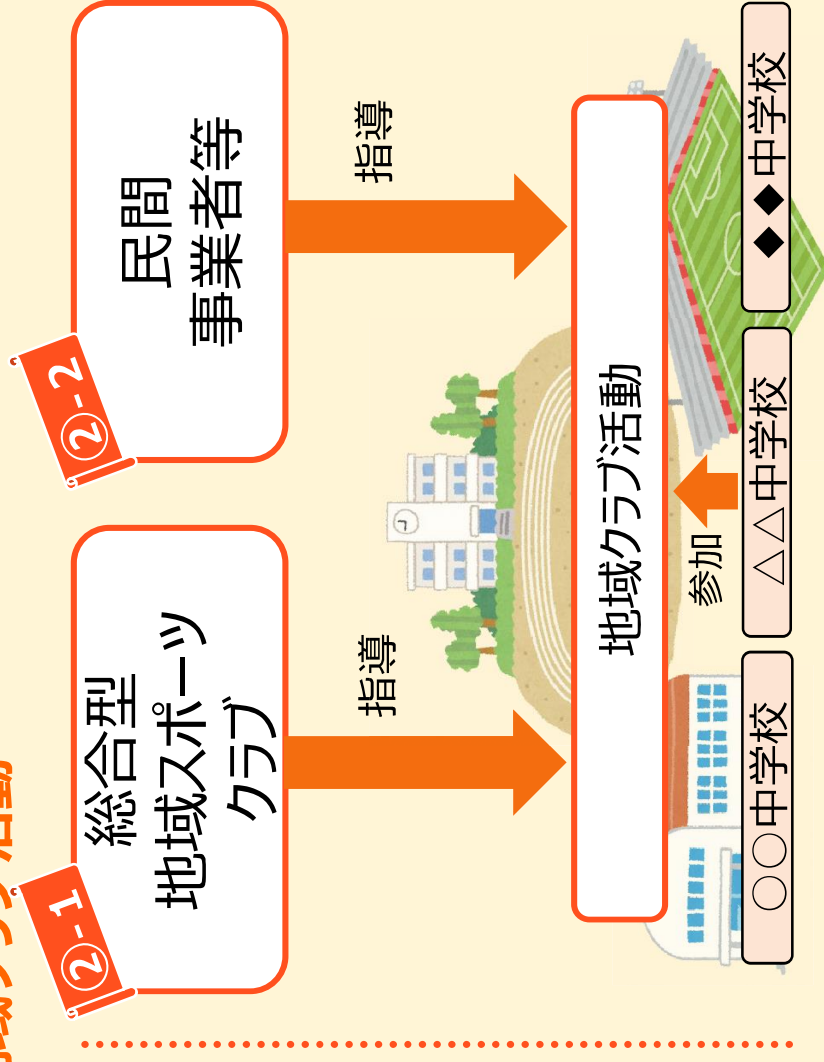
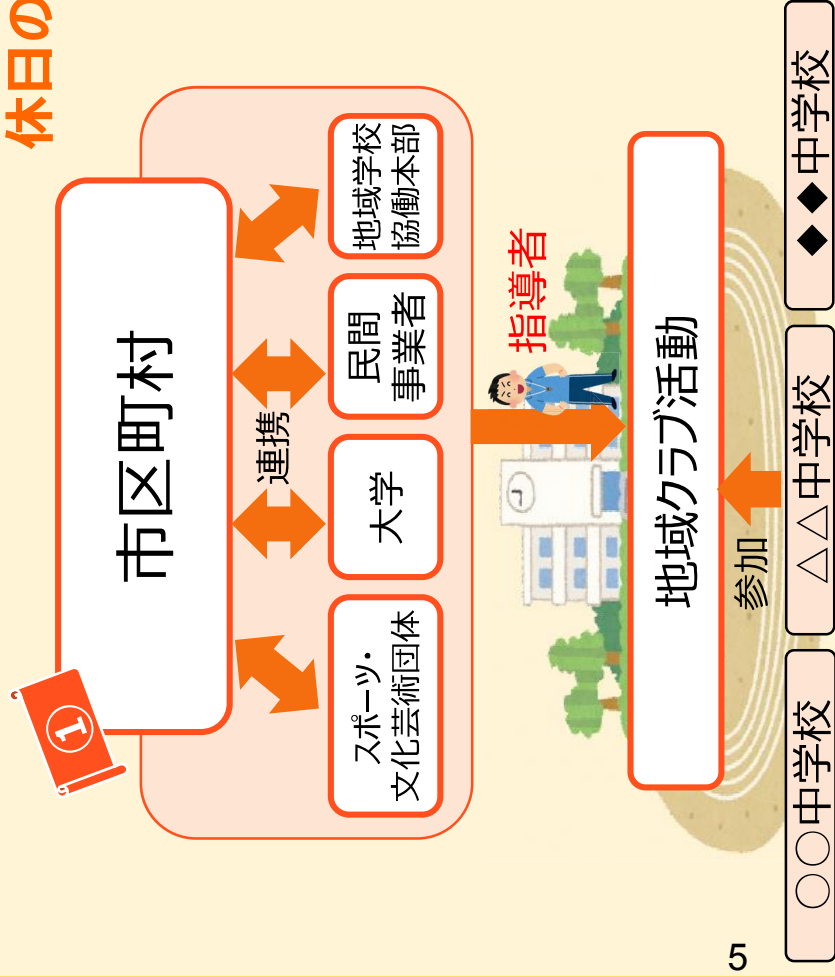
【位置付け】学校と連携して行う地域クラブ活動
(法律上は社会教育、スポーツ・文化芸術)

■ **地域の多様な主体が実施**。学校は、活動方針、活動状況や生徒に関する情報の共有等を通じて連携。

運営団体・実施主体	① 地方公共団体 （※複数地方公共団体の連携を含む） ② 多様な組織・団体 （総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団、体育・スポーツ協会、競技団体、プロチーム、民間事業者、大学、文化芸術団体、地域学校協働本部、同窓会等）
指導者	地域の指導者 （一部教師の兼職兼業）
参加者	地域の生徒（※他の世代と一緒に参画する場合を含む）
場所	学校施設、社会教育施設、公共のスポーツ・文化施設、地域団体・民間事業者等が有する施設
費用	可能な限り低廉な会費＋用具、交通費等の実費
補償	各種保険等

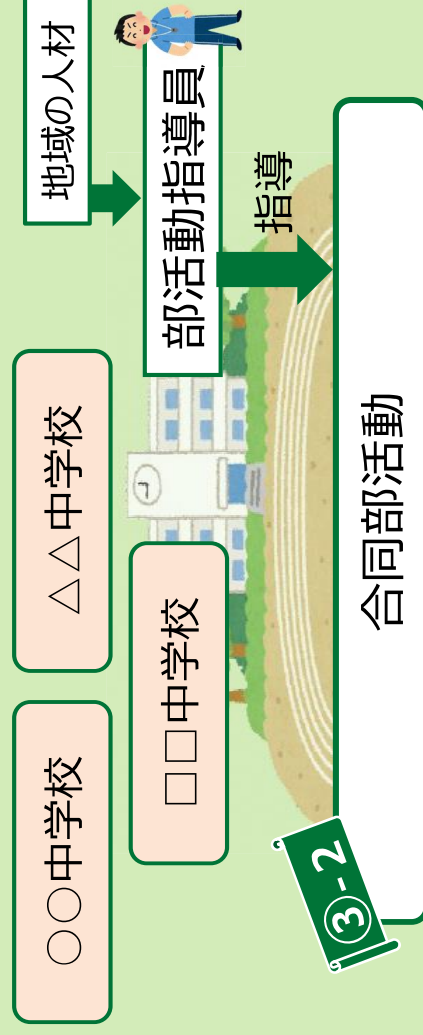
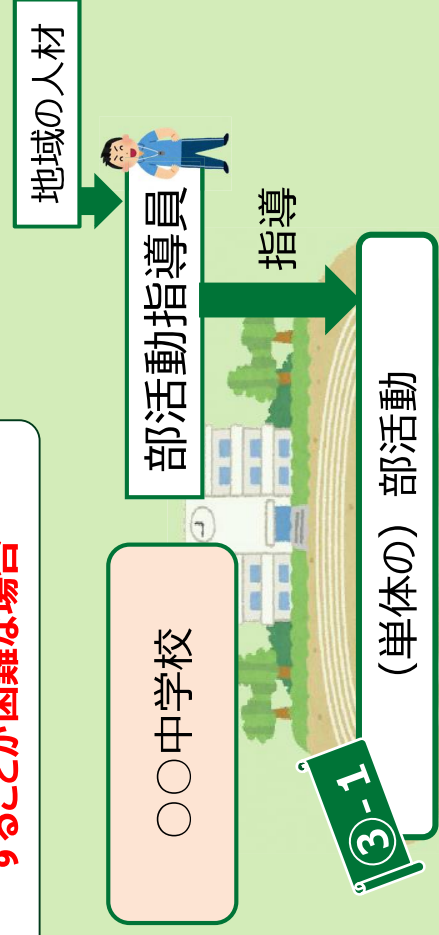


休日の地域クラブ活動

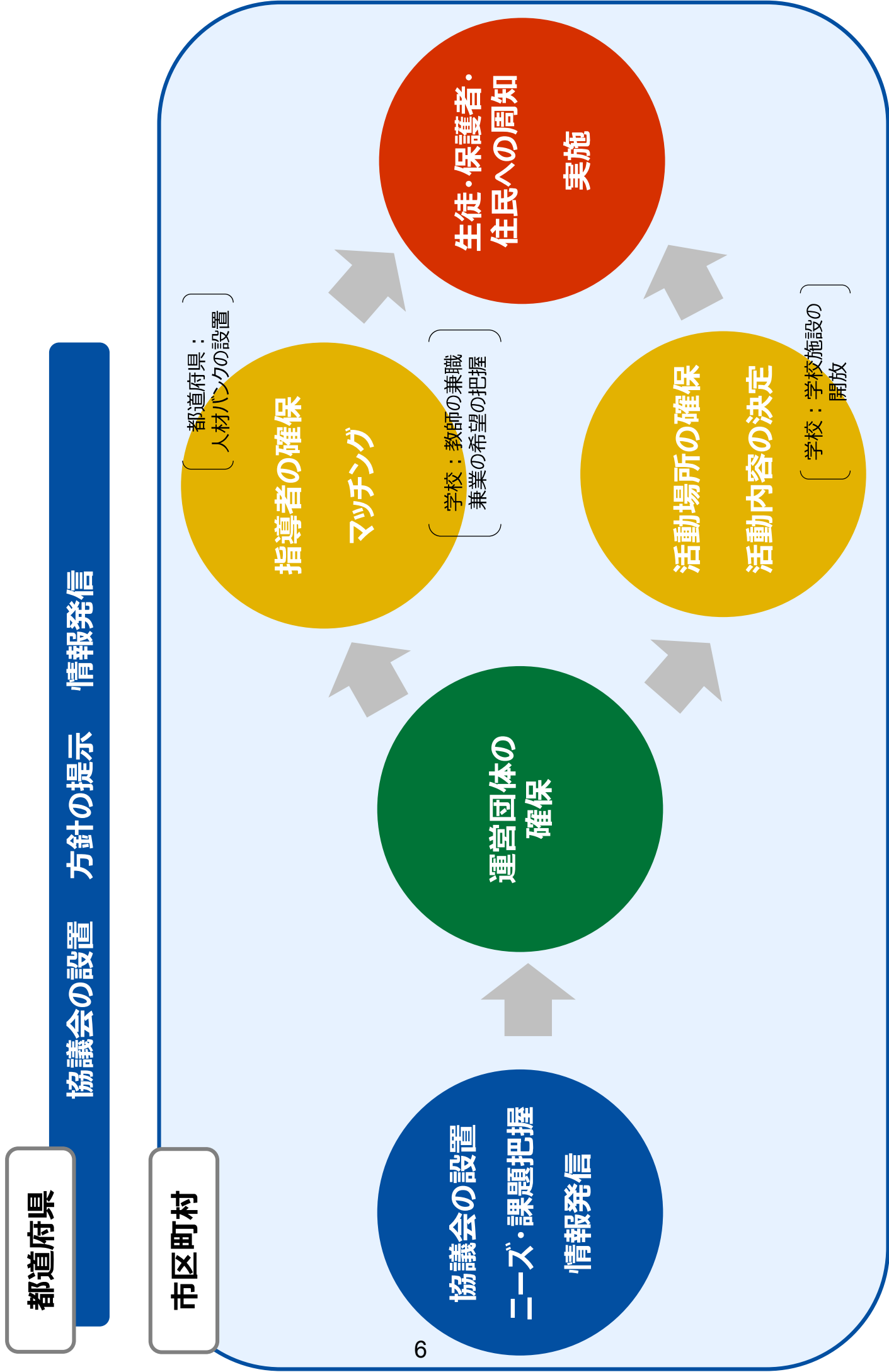


学校部活動の地域連携

※直ちに①②のような体制を整備することが困難な場合



休日の部活動の地域移行に係る手順の流れ（イメージ例）



休日の部活動の地域移行に係る要素（例）

	関係者の巻き込み・ 合意形成	運営団体の確保	指導者の確保	その他環境整備	実施
都道府県	【スポーツ・文化振興担当部署】 ・協議会を設置 ・ 方針の提示 ・手引きやHPの作成、説明会の実施等を通じて 情報を発信	【スポーツ・文化振興担当部署】 ・都道府県単位のスポーツ・文化芸術団体との連携	【スポーツ・文化振興担当部署】 ・指導者の発掘・把握 ・ 人材バンクの設置 【教育委員会】 ・兼職兼業の規定・運用の改善	【協議会】 ・施設利用の効率的運用等を検討し、利用ルール等を策定	【スポーツ・文化振興担当部署】 ・活動を広く周知
市区町村	【スポーツ・文化振興担当部署】 ・教育委員会等とも連携し、 協議会を設置 【協議会】 ・関係者へのヒアリング等を実施 ・ ニーズ・課題を把握 【スポーツ・文化主管課】 ・手引きやHPの作成、説明会の実施等を通じて 情報を発信	【スポーツ・文化振興担当部署・協議会】 ・地域スポーツ・文化活動を担う運営団体を確保 【協議会】 ・運営団体との連携体制を構築	【協議会】 ・人材バンクの活用 ・地元の民間企業・大学等との連携 ・地域人材の掘り起こし 【協議会】 ・運営団体・実施主体との マッチングを実施	【協議会】 ・学校施設や社会教育施設等の 活動場所を確保 ・施設利用の効率的運用等を検討し、利用ルール等を策定 【協議会】 ・地域クラブ活動における 活動内容を決定	【スポーツ・文化振興担当部署】 ・活動を周知し、実施
スポーツ・文化芸術団体、民間事業者等	・上記協議会への参画 ・上記ヒアリングの対応	・上記取組への協力・参画	・人材バンクへの人材登録 ・研修等を通じた指導者の 質・量の確保	【運営団体】 ・地域クラブ活動における具体的な活動内容を決	【運営団体】 ・活動を周知し、実施
学校	・上記協議会への参画 ・教師のニーズ把握 ・生徒・保護者のニーズ把握		・教師の兼職兼業の希望の把握	・利用ルールに基づく学校施設の開放	・活動方針、活動状況や生徒に関する情報の共有 ・地域クラブ活動について周知

2 県の取組

(1) 推進計画及び指針の策定

○「青森県公立中学校における休日の部活動の地域移行推進計画」（令和5年4月県教育委員会）

→教職員、生徒、保護者及び地域の理解の下、公立中学校における休日の部活動の地域移行について全ての市町村が足並みを揃えて取り組んでいけるようにすることを目的に策定

→令和7年度末までに、「全ての市町村で設置している学校において、休日の部活動の地域移行に向けて課題と対策を整理」「可能な部活動から、休日の部活動の地域移行を実施」することを求める

青森県 公立学校の休日の部活動の地域移行に向けたスケジュール					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目指す姿
県	公立中学校の休日の部活動の地域移行に向けた担当者協議会の開催				
	地域移行推進会議を設置 推進計画の作成	地域スポーツクラブ活動体制推進事業による市町村への支援			
		人材バンクのシステム構築	人材バンクの設置、指導者の資質向上等による市町村への支援		
		関係団体（スポーツ・文化芸術団体等）との連携による市町村への支援			
市町村・学校		検討委員会の設置 ・実態の把握 推進計画（方針等）の作成	説明会の実施 （教職員、保護者・生徒及び地域）		○ 可能な部活動から地域移行 ○ 地域連携の取組を検討 ○ 部活動ごとの課題と対策を整理
			全部活動での検討 関係団体等の協力のもと、地域クラブの体制整備 課題と対策の整理、課題の解消方策について検討 休日の部活動の地域移行を開始 合同部活動等の地域連携を検討		
地域スポーツ 芸術文化等 関係団体		（協力の例）			
		人材バンクへの登録、指導者研修会の実施、地域クラブ体制整備			
		部活動の地域移行に向けた地域クラブ活動の協力・参画			
		地域クラブの組織の運営			

○「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の指針」（令和6年3月県教育委員会）【P9 概要版参照】

→少子化の進展等の課題を踏まえ、児童生徒の豊かなスポーツ・文化芸術活動を実現するための持続的な活動環境を整備することが重要

→これまでの運動部・文化部活動の指針について、教職員の負担の軽減を考慮して見直すとともに、新たな地域クラブ活動に係る留意事項も取りまとめた新たな指針を策定

学校部活動及び新たな地域クラブ活動の指針

概要版

策定の趣旨

P1～

- ◆少子化の進展等の課題を踏まえ、児童生徒の豊かなスポーツ・文化芸術活動を実現するための持続的な活動環境を整備することが重要。このため、現行の運動部・文化部活動の指針について、教職員の負担の軽減を考慮して見直すとともに、新たな地域クラブ活動に係る留意事項も取りまとめた新たな指針を策定する。

新たな地域クラブ活動とは

公立中学校の学校部活動の受け皿となる地域クラブ活動

学校部活動

P2～

運動部と文化部の指針の内容の統合・見直し

適切な運営のための体制整備

- ・活動方針、年間の活動計画、毎月の活動計画等の作成
- ・顧問の決定に当たり、適切な校務分掌となるよう留意
- ・円滑に活動できるよう適正な数※の学校部活動を設置
- ※ 複数の顧問が配置できる学校部活動数
- ・学校の設置者は、学校部活動が適正な数となるよう指導・助言するほか、部活動指導員を積極的に配置し、部活動指導員が指導等を担う体制を構築
- ・県教育委員会は、部活動指導員等の確保のための人材バンクを整備
- ・児童生徒の多様なニーズに応えられる指導者の養成や資質向上に取り組む

合理的かつ効率的・効果的な活動の推進

- ・児童生徒の心身の健康管理、事故防止の徹底、体罰やハラスメントの根絶
- ・効率的・効果的なトレーニングの積極的な導入等
- 児童生徒のニーズを踏まえたスポーツ・文化芸術環境の整備
- ・生涯を通じてスポーツ・文化芸術活動に親しむ基礎を培う
- ・スポーツ・文化芸術に親しむことを重視し、参加しやすくなる工夫や配慮
- ・児童生徒の意思に反して強制的に加入させない

学校部活動の地域連携

- ・学校種を越えた合同練習など、多様な交流の機会を確保
- ・地域のスポーツ・文化団体等との連携による活動を増やす

適切な休養日等の設定

【適切な休養日】

	平日	週休日	週合計
小学校・中学校・高校	1日以上	1日以上	2日以上

※ハイシーズン（中学校・高校が対象）

- ・主要な大会等の時期をハイシーズンとして活動できる
- ただし、生徒及び顧問の意思等を踏まえ、校長が設定の可否を判断
- ・ハイシーズンは3週間以内とし、期間中も週1日以上以上の休養日を確保し年間で104日（平均して週2日）程度の休養日を確保
- ※オフシーズン
- ・児童生徒の十分な休養と多様な活動が行えるようにするため、ある程度長期の休養期間（オフシーズン）を設ける

【適切な活動時間】

	平日	週休日
小学校	2時間程度	2時間程度
中学校・高校	2時間程度	3時間程度

新たな地域クラブ活動

P11～ 学校部活動と同様に生徒の心身の成長に配慮した活動を行うための留意事項を追加

- ・年間の活動計画、毎月の活動計画の作成・管理責任の主体の明確化
- ・児童生徒の心身の健康管理、事故防止の徹底、体罰やハラスメントの根絶
- ・効率的・効果的な練習の積極的な導入等
- ・生徒の志向や体力等の状況に適した活動の機会の確保
- ・学校部活動に準じた休養日や活動時間の設定
- ・生徒が参加しやすくなるよう、地域の公共施設や学校施設を活用
- ・保護者負担の軽減、指導者や参加する生徒の保険加入
- ・活動方針や活動状況等の情報共有を含む学校との連携

大会等の在り方の見直し

P14～ 地域クラブの参加等のための見直し

- ・大会参加資格を、新たな地域クラブ活動や複数校合同チームも参加できるよう見直す
- ・部活動指導員による引率が可能となるよう見直す
- ・大会運営に従事する教職員の営利企業への従事等の許可など、適切な服務監督
- ・大会等の主催者は、参加する児童生徒の健康と安全を守るよう配慮

スポーツ傷害の予防と応急手当

P19～ 内容の精査

Q & A

P23～

学校部活動に係る内容の見直し、新たな地域クラブ活動に関するQ&Aの追加

(2) 県教育委員会の実際の取組

- 「地域クラブ活動推進に関する市町村担当者協議会」の開催
 - 公立中学校の部活動の地域移行に向けた国の動向及び地域クラブ活動体制整備事業を活用した県教育委員会や各市町村の取組について説明するとともに、各市町村の現状及び課題を協議し、休日の部活動の段階的な地域移行について理科を深めることを目的に開催（本検討協議会事務局出席）
- 「地域スポーツクラブ活動・学校部活動指導者人材バンク」の運用【P11～P12 参照】
 - 運動部活動の地域移行の受け皿となる地域クラブの指導者を確保するため、指導者として協力していただける地域の方々と、指導者を必要としている地域クラブ・学校を結び合わせることを目的として設置（令和6年11月現在、91名の登録あり、2市が活用）
- 運営団体・実施主体の整備等について国の実証事業により支援
 - 令和6年度の支援対象
 - むつ市「むつ市地域文化・スポーツクラブ（むつ☆かつ）」
 - 三戸町「三戸町体育協会ジュニアクラブ」
- 県立三本木高等学校附属中学校における部活動の地域移行に向けた実践研究

	運営団体・実施主体	指導者	活動場所	費用負担	生徒の移動手段
女子バスケットボール (R3～)	保護者会	外部コーチ (平日・休日の一貫指導)	学校 十和田市総合体育センター 六戸町営体育館	学校施設の開放 市の施設利用の減免措置	保護者送迎 (乗り合わせ)
男子ハンドボール (R4～)	十和田市ハンドボール協会	部活動顧問 (営利企業への従事等許可)	十和田市総合体育センター	会費の検討	保護者送迎 徒歩
男女陸上競技 (R4)	総合型地域スポーツクラブ RED HORSE	クラブ指導者	十和田市陸上競技場 六戸町陸上競技場	保護者負担	保護者送迎 徒歩
男女剣道 (R5～)	十和田市剣友会	外部コーチ (平日・休日の一貫指導)	学校 十和田市志道館	学校施設の開放	保護者送迎 徒歩
男女野球 (R6～)	保護者会	部活動指導員 (平日・休日の一貫指導)	学校	学校施設の開放	保護者送迎 徒歩

中学生のスポーツ活動をサポート

青森県 地域スポーツクラブ活動・ 学校部活動指導者人材バンク



あなたの協力で青森県のスポーツはもっと煌めく

指導者登録は
3分でOK!



<https://aomori-partner.spocul-bank.jp>

登録には資格や教員免許がなくてもOK。
指導経験は問いません。



登録で広がる青森県とあなたの未来!

これまでの知識と経験が
スポーツ界の発展につながる

地域貢献やボランティアを通じて
人脈やコミュニティが広がる

指導者としての活動が
就職活動にも有効

地域スポーツクラブ活動・学校部活動指導者人材バンクとは？

青森県教育委員会では、生徒のニーズに合ったスポーツ・文化芸術活動の機会を確保するため、公立中学校の部活動の地域移行を推進しています。

このことから、運動部活動の地域移行の受け皿となる地域クラブの指導者を確保するため、指導者として協力していただける地域の方々と、指導者を必要としている県教育委員会・市町村教育委員会とを結び合わせる「地域スポーツクラブ活動・学校部活動指導者人材バンク」を設けることとしました。

〔地域スポーツクラブ活動・学校部活動指導者人材バンク 利用の流れ〕



地域スポーツクラブ活動・学校部活動指導者人材バンク Q&A

Q1. 対象となる活動内容（競技や種目など）は学校の運動部活動で行っているものだけでしょうか？

A1. 登録する指導内容については限定していません。どのような活動でも幅広く登録することができます。

Q2. 指導者の資格がないと登録できませんか？

A2. 資格や指導歴がなくても登録可能ですが、指導者の採用に当たり、資格が必要な場合があります。

Q3. 大学生でも登録可能ですか？

A3. 登録可能です。

Q4. 登録後、依頼があった場合は必ず引き受けなければならないのでしょうか？

A4. 条件などが合わない場合にはお断りしても構いません。

Q5. 情報を公開されることに不安を感じるのですが。

A5. 全ての情報が公開されるわけではありません。個人が特定される情報などは非公開となります。

特記事項

- ・ 指導者の情報を指導可能地域の各市町村教育委員会と共有しますが、目的外での使用は一切しません。
- ・ 登録者が必ず採用されるわけではありません。

お問合せ先

青森県教育庁 スポーツ健康課

〒030-8540 青森県青森市長島一丁目 1-1

TEL : 017-734-9907 E-mail: taiiku-kenko@pref.aomori.jp

Ⅱ 本検討協議会におけるこれまでの協議の概要

1 これまでの協議の経緯

(1) 令和5年度を取組と協議の状況

【取組】

- 4月 1日 本検討協議会設置
- 7月 4日 令和5年度第1回市地域スポーツ・文化活動検討協議会開催
(委員：八戸学院大学、市連合PTA、市スポーツ協会、市スポーツ推進委員協議会、市文化協会、市中学校長会、市中学校体育連盟、市中学校文化連盟、市小学校長会から推薦された者各1名、公募に応じた者2名、計11名)
- 9月28日 第2回市地域スポーツ・文化活動検討協議会開催
- 11月21日 第3回市地域スポーツ・文化活動検討協議会開催
- 12月15日 児童生徒及び保護者宛てリーフレット「八戸市における中学校部活動の地域移行に関する検討状況等について」発出【P45 参照】
- 1月26日 第4回市地域スポーツ・文化活動検討協議会開催

【協議の状況】

第1回検討協議会(R5.7.4)

第2回検討協議会(R5.9.28)

→○児童生徒及び保護者のニーズ、地域クラブ活動における教員の指導希望の有無等の把握のため、学校部活動から地域クラブ活動への移行に関するアンケート（意向調査）を実施することについて検討したが、「地域移行後のイメージが、児童生徒及び保護者を含め、それぞれの立場によってバラバラな状況であり、アンケート結果が把握したい内容を十分に反映したものにはならないのではないか」といった意見が示された。

○地域クラブ活動への移行にあたり、大会参加の在り方、平日の学校部活動との兼ね合い、保護者負担（会費、送迎等）、大会運営の在り方（中体連の在り方を含む）、指導者の確保等、解決すべき課題が多数あることが示され、これまで教員が担ってきた学校部活動から地域クラブ活動へ移行することに対する強い不安感や懸念が示された。

第3回検討協議会(R5.11.21)

第4回検討協議会(R6.1.26)

→○当市が目指す最終的なスポーツ・文化活動環境として、「既存の総合型スポーツクラブ、クラブチーム、民間事業者等によるスポーツ・文化芸術活動」と「学校部活動の受け皿として学校以外の新たな運営団体が運営を担う地域クラブ活動」の

二本立てを想定することを確認した。

○児童生徒及び保護者、関係団体等と今後のイメージを共有し、不安感や懸念を払拭してより円滑に新たな環境への移行を進めていくためには、さらにもう一段階、前段階のステップが必要なのではないかと考え、休日の合同部活動を実施していくことで意見が一致し、今後はそのための協議、準備を進めていくこととした。

○今後のスケジュールを、次のように想定することを確認した。

段階	時期	イメージ	休日の活動方法	役割		
				運営 責任者	主な 指導者	他の 指導者
0	R6 年度	各校ごとの 部活動 合同部活動 実施案検討	顧問（部活動指導員を含む、以下同様）が実施	顧問	顧問	
1	R7～R9 年度目途	合同部活動 導入期	顧問が実施	顧問	顧問	
2		合同部活動 拡充期	顧問が実施、地域等が指導サポート	顧問	顧問	地域等
3	R9～R10 年度目途	合同部活動 充実期	顧問が全体運営、地域等が指導	顧問	地域等	顧問
4		地域移行 準備期	地域等が全体運営に参画	顧問 地域等	地域等	顧問
5		地域移行 推進期	地域等が実施、顧問が運営サポート	地域等	地域等	顧問
6	R11 年度～	地域移行	地域等が実施（地域クラブ活動）	地域等	地域等	

(2) 令和6年度の取組と協議の状況

【取組】

- 7月23日 令和6年度第1回市地域スポーツ・文化活動検討協議会開催
(委員：市中学校体育連盟、市中学校文化連盟から推薦された者各1名、公募に応じた者1名、計3名から辞任届が提出されたことにともない、新たに株式会社ヴァンラーレ八戸、市中学校体育連盟から推薦された者各1名、計2名を委員に委嘱)
- 9月 2日～ 9月13日
「部活動の地域連携・地域移行に係るアンケート調査」の実施
(対象：小学校5・6年生及び中学校1・2年生の児童生徒及び保護者、小・中学校教職員)
- 10月28日 第2回市地域スポーツ・文化活動検討協議会開催
- 11月25日 第3回市地域スポーツ・文化活動検討協議会開催
- 12月23日 児童生徒及び保護者宛てリーフレット「八戸市における中学校部活動の地域移行に関する検討状況等について」発出【P46 参照】
- 1月24日 第4回市地域スポーツ・文化活動検討協議会開催

【協議の状況】

第1回検討協議会(R6. 7. 23)

- 検討協議会として、9月、児童生徒、保護者、教職員を対象とした、実態把握のためのアンケート調査を実施することとした。
- 令和7年度以降、休日の地域連携として合同部活動を本格的に実施していくため、まずは今年度試行的に実施し、実施に係る諸課題の洗い出しを図ることとした。

第2回検討協議会(R6. 10. 28)

- アンケート調査の結果を踏まえた各委員からの意見を共有した。

【主な意見】

- ・今後の方向性、スケジュールについて見直すことも必要では。地域に入ってもらえる、地域に移行できるところから順次移行したほうがいいのか？
- ・家から近いところでやりたいとの意見が大人も子どもも多い。
- ・市独自の人材バンクを設置することも必要では？

第3回検討協議会(R6. 11. 25)

- 合同部活動の試行についての報告を踏まえた各委員からの意見を共有した。

【主な意見】

- ・大学生が実際に「見せる」ことが子どもたちの納得につながった。続けてほしい。(各校の)指導者の勉強にもなる。
- ・(合同部活動後の)子どもたちの声がいい。
- ・合同部活動、顧問を減らしていく(顧問が来なくてもよくする)ことの検証も必要では？

- 国の方針を踏まえた当市の今後の方向性についての各委員からの意見を共有した。

【主な意見】

- ・（学習指導要領の改訂で学校部活動の位置付けが変わることが見込まれ、）学習指導要領改訂で先生方に顧問をお願いできなくなる。それまでに（地域クラブ活動の）体制づくりが必要だ。是非（謝礼、保険料、会場費、交通費等の経費の）予算化を進めるとともに、推進体制整備をコーディネートする人も招いて進めるべき。
- ・（地域クラブ活動の）モデルケースを立ち上げて、たたき台とすることも必要では？
- ・市長部局とも協力し、専門部署の設置が必要だ。指導者や運営者にきちんと謝礼が出るようにしないといけない。市役所全体を巻き込んだ取組を。
- ・子どもたちが選んで参加できる仕組みをつくるべき。やれるところは早めにやる。やれるところから。

第4回検討協議会(R7.1.24)

→○本検討報告書（案）についての各委員からの意見を共有した。

2 アンケート調査結果概要

(1) アンケート調査について

○目的

当市における「部活動の地域連携・地域移行推進計画」を策定するに当たり、児童生徒、保護者、教職員に対し、学校部活動の現状や課題等を把握するために実施したものである。

○調査対象

市立中学校 1・2 年生 (3,597 人)

市立中学校 1・2 年生保護者

市立中学校教職員 (486 人)

市立小学校 5・6 年生 (3,436 人)

市立小学校 5・6 年生保護者

市立小学校教職員 (724 人)

＊調査対象学年に複数の児童生徒が在籍する保護者については、上の学年の児童生徒についてのみ回答

○調査期間（アンケート回答期間）

令和 6 年 9 月 2 日（月）～ 9 月 13 日（金）

○調査方法

オンライン（Google Forms）による

(2) アンケート調査結果概要

＊設問ごとの調査結果については、市ホームページ内の本検討協議会ページ（下記アドレス参照）において公開している「令和 6 年度第 2 回八戸市地域スポーツ・文化活動検討協議会《会議資料》【資料 2】部活動の地域連携・地域移行に係るアンケート調査結果概要について」を参照

【市ホームページアドレス】

<https://www.city.hachinohe.aomori.jp/soshikikarasagasu/gakkokyoikuka/johokokai/1/19847.html>

【QR コード】



＊各設問における回答率（％）は、小数第二位を四捨五入し、小数第一位までを表記

○回答者数と回答率

対 象	回答者数（人）	対象人数（人）	回答率（％）
生徒（中学校１・２年生）	3,049	3,597	84.8
保護者	2,030		
児童（小学校５・６年生）	3,123	3,436	90.9
保護者	1,523		
中学校教職員	303	486	62.3
小学校教職員	458	724	63.3

○児童生徒の部活動に関する意識等

- ・中学生の部活動加入状況
 - 89.9%の生徒が学校部活動に加入
 - 20.4%の生徒が学校部活動以外の活動に参加（学校部活動との掛け持ちを含む）
- ・小学生の部活動への加入希望
 - 運動部への加入を希望 54.3%
 - 文化部への加入を希望 14.3%
 - 加入を希望しない 10.1%
- ・部活動への加入を希望しないと回答した小学生の主な理由
 - 部活動以外の活動をするので加入しない 6.7%
 - 特に理由はないが部活動には加入しない 3.4%
- ・部活動に加入する目的の主なもの
 - 体力・技術を向上させるため
 - 友達と楽しく活動するため
 - 大会・コンクール等で良い成績を収めるため
 - *小学生、中学生ともに同様の結果となった。

○教職員の部活動に関する意識等

- ・部活動指導の状況
 - 84.7%の中学校教職員が部活動を担当している
 - 35.9%の中学校教職員が自分に取り組んでいた競技等の部活動を担当している
- ・部活動指導における重点事項の主なもの
 - 生徒の人間形成
 - 生徒に達成感や成就感を味わわせる
 - 生徒同士の人間関係づくりやコミュニケーション能力の向上
- ・部活動指導における主な課題
 - 教員にとって負担が大きすぎる
 - 専門的な指導ができない

指導する人材が不足している

＊地域連携・地域移行を早く進めてほしいという意見が多い。

・自由記述から

→「今すぐにでも移行してほしいのに八戸市がいつになったら移行できるのか見えず不安。部活動の指導を一切望まないのに、教員が半強制的に部活動の指導に関わらざるを得ない状況が納得できない。」

「部活動が中学生にとって重要であることは理解しているが、指導の技術力不足を感じており、部活動指導が大きな負担となっている。」

○部活動の地域移行に関する意識等

・地域連携・地域移行についての意識

→児童生徒は、「通学している学校や家の近くの施設での活動なら参加したい」との回答が最多（小学生 30.1%、中学生 35.0%）、次いで「通学している学校や家の近くの施設での活動でなくても、自分の求める条件に合えば参加したい」との回答が多い（小学生 24.9%、中学生 20.2%）

保護者は、「活動場所が近ければ参加させたい」との回答が最多（小学生保護者 33.5%、中学生保護者 37.2%）

・地域連携・地域移行に向けて解決すべき課題

→人材（指導者・活動を運営する人等）の確保

大会運営との関わり

施設

費用

交通手段

・地域移行された場合の指導への関わり（教職員回答）

→報酬に関わらず指導したい 小学校教職員 1.8%、中学校教職員 10.8%

報酬があれば指導してもよい 小学校教職員 4.4%、中学校教職員 14.2%

特に関わろうとは思わない 小学校教職員 85.1%、中学校教職員 54.5%

・自由記述から

→「報酬があれば教員をしながら地域活動の指導者になってもよいと考える。しかし、他に指導者が複数いるとしても、教師ということで地域活動における怪我や人間関係などのトラブルに対し、責務を一人で背負うことになると思われる。（略）」

「学校に部活動を置くことによって時間外勤務が多い状況ならば、（略）できるだけ早急に学校からきっぱりと切り離して「地域移行」とした方が教員のウェルビーイングにつながるのではないかと考える。教員の中で地域クラブ活動に貢献したい者は、勤務時間終了後に関わることができるだろうと思う。」

3 合同部活動報告

(1) 合同部活動について

○目的

学校部活動から地域クラブ活動への移行にあたり、児童生徒、保護者、地域社会、関係団体等と今後のイメージを共有し、協議の過程で示された不安感を払拭して一層円滑に移行を進めるために、前段階のステップとして実施するもの。

スポーツ・文化芸術活動における地域連携のイメージ化を図るとともに、地域クラブ活動への移行の土台づくりとすることを目的とする。

○合同部活動の試行について

休日の合同部活動を令和7年度から順次実施していくことを想定し、実施にあたっての諸課題の洗い出しを図ることを目的に、一部競技等において令和6年度から試行するもの。

令和6年度は、美術・総合文化部及び陸上競技部の合同部活動を試行した。【P21～P35 実践報告書参照】

【令和6年度合同部活動試行】

・美術・総合文化部

10月	5日(土)	是川縄文館	参加生徒：15名
12月	7日(土)	美術館	参加生徒：26名
1月12日	(日)	街かどミュージアム	
1月25日(土)、2月1日(土)または2日(日)		美術館	
2月	9日(日)	街かどミュージアム	

・陸上競技部

11月16日(土)	東運動公園陸上競技場	参加生徒：180名
1月25日(土)	白山台中体育館	
2月	1日(土)	第一中体育館
2月	8日(土)	屋内トレーニングセンター
2月15日(土)	東中体育館	

○合同部活動の指導者について

合同部活動はあくまで学校部活動であり、顧問による引率、指導を前提としたものであるが、徐々に教員以外の地域等の指導者が指導を担うことができるようにしていくことを想定する。

地域等の指導者としては、各校における部活動の外部指導者、大学生、県が設置した人材バンク登録者等が想定される。

令和6年度の試行においても、「合同部活動アシスタント」として大学生等に合同部活動の指導のサポートを依頼し、協力を得た。(謝礼：@1,000円、傷害保険加入、市において全額予算措置)

(2) 合同部活動実践報告書

令和6年度休日部活動地域移行モデル事業

合同部活動に関する実践報告書（美術・総合文化）

自治体名	八戸市教育委員会	担当課：学校教育課
------	----------	-----------

1. 事業の概要について

(1) 基本情報（令和6年4月末時点）

①中学校数	24	②生徒数	5,385人	③部活動数	運動部 229
					文化部 49

(2) 実施日時・場所

令和6年10月5日（土）9時30分～12時30分

八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館1階 体験交流室

(3) 実践内容 「合掌土偶をつくろう!! 2024」

- (4) 目的 ①休日部活動地域移行モデル事業として試行し、成果と課題を探る。
 ②学校内の部活動では体験することができない「合掌土偶づくり」を通して、縄文文化に触れるとともに、郷土八戸が誇る文化芸術について学ぶ機会とする。

2. 参加者の声 15人中11人が回答

【(1) 顧問】

① 良かった点	・一斉指導後の個別指導 ・ボランティアの方々の語り
② 生徒を参加させるに当たり工夫したこと	・保護者への周知と送迎依頼
③ 今後に向けて	・情報を早めに教えていただけたので、今回参加できました。今後もお願いしたいです。
④ その他	・準備物の充実 ・参加料が安くてよかった。（材料費200円） ・施設設備・・・駐車場が広く無料なので、保護者が安心して送迎できた。 ・保護者が安心して子どもを預けられる環境づくりが重要である。 ・誰が、どのように運営するのかの情報がまだ少ない。保護者の理解を進め、新たな形に慣れてもらうための取組が大切になる。 ・今回、材料費200円でこのように充実した体験ができてとても満足している。 ・美術部以外の生徒でも参加したいと話していた生徒がいたが、合同部活動なのであきらめてもらった。平日、他の部活動に所属している生徒や学校部活動に所属していない生徒たちが気軽に参加できるようになるとよいと思う。（合同部活動でない場合は、保険が対象外となる。）

【(2) 生徒】

① 今回の活動を何で知りましたか？	ア チラシを見て	0
	イ 先生から聞いて	11
	ウ 友人から聞いて	0
	エ その他	0
② 活動場所までの交通手段	ア 徒歩	0
	イ バス	2
	ウ 自家用車	9
	エ その他	0
③ 今回の活動はいかがでしたか？ (複数回答可)	ア 有意義だった。	8
	イ 楽しかった。	10
	ウ また参加してみたい。	6
	エ つまらなかった。	0
	オ その他	0

3. 感想から

- ・ボランティアさんの説明がとても上手で分かりやすかったです。また、機会があったら作りたいです。
- ・ボランティアの方の説明や伝え方が分かりやすく、楽しく作ることができました。難しそうと思っていましたが、丁寧に教えてくださったのでスムーズに進めることができました。
- ・最初は簡単でしたが、進むにつれてどんどん複雑で難しくなって大変でした。でも、楽しくできてよかったです。このことを部活動などに生かしていきたいです。
- ・あまり土偶を見たり作ったりすることがないので、参加できてよかったです。難しいところを丁寧に教えてくださったので、とても分かりやすかったです。帰ったら家族にも「今日こんなことしたよ。」と教えたいと思います。ありがとうございます。
- ・最初はそんなに難しいとは思いませんでしたが、思ったよりも難しかったです。でも、楽しかったのでもよかったです。教えていただいたことができたのでもよかったです。
- ・一つ一つ丁寧に教えてくださって、とても分かりやすかった。合掌土偶を作ることは、簡単ではないことを知ることができた。縄目模様の付け方があまり分からず難しかった。
- ・今回、初めて合掌土偶を作りました。分からないことが多くありましたが、丁寧に指導してくださったので、楽しく制作することができました。特に、縄目の文様を付ける作業が難しかったです。私の学校では、これから文化祭があるので、今回の制作で学んだことを生かしていきたいです。今日は、本当にありがとうございます。
- ・今日は、初めてこういった体験をしました。初めてだったので不安だったところが多かったのですが、教えていただくときに優しく丁寧に接していただいて、とても助かりました。できなかったところや少し不格好になったところもありましたが、またやってみたいと思える活動にさせていただき感謝しています。体験以外でもまた是川縄文館に来てみたいと思います。今日はありがとうございます。
- ・実際に作ってみて、普段見ているだけでは分からない部分や作る上での難しさや楽しさを知ることができました。不器用な私でもボランティアさんの指導を聞いて、最後まで完成することができたので良かったです。当時の人の生活や考えなどを想像することもできました。

4. 成果と課題

【成果】

- ・「合掌土偶づくり」という普段の学校部活動ではできない体験ができたことで、充実感を味わうことができた様子だった。
- ・市内の文化施設で行っている体験教室について、具体的に知ることができた。
- ・合同部活動を実践したことにより、具体的な課題を見付けることができた。
- ・美術部や総合文化部の生徒は、普段から土日の活動をする機会が少ない様子で、地域と連携して体験学習の機会を提供することは有意義である。

【課題】

(1) 活動の周知の仕方

- ・図書館や博物館、美術館、是川縄文館で主催している活動でも周知するのが難しい。チラシを配付しただけでは周知は難しい。顧問からの呼びかけが必要である。内部メールを送る場合も、文書受付にも同時に送付したり、個人宛に紙媒体で発送したりするなど、周知することの難しさを感じた。

(2) 参加者の当日の連絡手段

- ・当日、欠席した場合の連絡手段を明らかにする必要がある。

(3) 参加費用

- ・今回は粘土代200円の材料費のみだったので好評だった。

(4) 対象参加者

- ・学校で案内をした際に、美術部以外の生徒の中で希望者がいたようだが、合同部活動だったため断ったとのことだった。他の部活動に所属している生徒でも、単発の講座であれば参加可能である。

(5) 会場までの送迎

- ・生徒が希望しても、送迎が無理という理由で参加できない生徒がいた。
- ・近隣中学校の生徒は、市営バスを利用していたが、バスの路線や時刻の都合が合わないことが多い。(特に、土日)

(6) 指導者

- ・ボランティア団体などをお願いする場合は、組織の特性に合わせて計画を進めることが大切である。

(7) 活動時間

- ・今回の「合掌土偶づくり」体験では、学校部活動同様、活動時間については3時間以内で計画を立てたものの、時間が足りなくなりそうで、休憩もとらずに集中して行った。内容によっては時間内に終わることができないものもありそうだ。土日の二日間日程ができればよいが、土日のどちらか一日となると内容に制限が生じる。

(8) 顧問の関わり方

- ・引率が無理な場合でも他校の教員がいる場合は、保護者引率として他校の教員と連携して取り組むことで、負担軽減につながる。

(9) 保険関係

- ・野外活動届を速やかに提出してもらえるように早目に呼び掛ける。

自治体名	八戸市教育委員会	担当課：学校教育課
------	----------	-----------

1. 事業の概要について

（1） 基本情報（令和6年4月末時点）

①中学校数	24	②生徒数	5,385人	③部活動数	運動部 229
					文化部 49

（2） 実施日時・場所

令和6年12月7日（土） 午前の部 10時15分～13時15分

午後の部 13時45分～16時45分

八戸市美術館 制作：ワークショップルーム

鑑賞：ホワイトキューブ「風のなかを飛ぶ種子」展

（3） 実践内容 版画の世界～ドライポイントの制作と「風のなかを飛ぶ種子」展の鑑賞

（4） 目的 ①休日部活動地域移行モデル事業として試行し、成果と課題を探る。

②版画（ドライポイント）の制作と学芸員による「風のなかを飛ぶ種子」展の鑑賞を通して、青森県に昔から伝わる版画芸術に触れる機会とする。

2. 参加者の声 26人中24人が回答

【（1） 顧問】

① 良かった点	・他校の生徒と活動するので、普段より緊張感を持って制作していた。 ・制作と鑑賞の両方ができた。 ・大人とのかかわりをもつことができた。
② 生徒を参加させるに当たり工夫したこと	・ドライポイントの彫りは、ハッチングで陰影をつけることに似ていることを伝え、デッサンに力を入れたこと ・事前に塩化ビニール板を預かり、転写まで済ませていたこと ・「魔女の宅急便」を美術部員全員で鑑賞したこと
③ 今後に向けて	・前回も今回も後始末をお任せしてしまい申し訳ないと思っています。生徒に片付けまでさせたいと思います。 ・前回同様、情報を早めに教えていただけるので助かります。今後お願いしたいです。
④ その他	・「顧問が引率するから参加させる。」という保護者が多いです。生徒個人の興味関心に寄り添った判断をしていただけるようにしていきたいと思っています。

【（2） 生徒】

ア～エは複数選択可

① 今回の活動を何で知りましたか？	ア チラシを見て	4
	イ 先生から聞いて	24
	ウ 友人から聞いて	0
	エ その他	0

② 活動場所までの交通手段	ア 徒歩	3
	イ バス	0
	ウ 自家用車	22
	エ その他	0
③ 今回の活動はいかがでしたか？	ア 有意義だった。	11
	イ 楽しかった。	23
	ウ また参加してみたい。	10
	エ つまらなかった。	0
	オ その他	0

3. 感想から

【午前の部】

- ・指導してくださりありがとうございます。私はあまり版画を作ったことがなく、ドライポイントは初めてでしたが、彫るのも刷るのもとても楽しかったです。教え方も上手でとても分かりやすかったです。終わらなかったのも、2月くらいにまたやってみたいです。(1年)
 - ・このように他の学校と交ざって部活動やるのが初めてだったので、新しい経験ができ楽しかったです。この経験を生かして今後の活動を頑張っていきたいです。(1年)
 - ・版画をあまりやったことがないので、最初はどうか不安でしたが、指導してくださった方の説明などが分かりやすく、スムーズに進めることができました。ドライポイントやる機会が少ないので、ドライポイントをやることができよかったと思っています。(1年)
 - ・版画について詳しく知ることができたり、学ぶことができよかった。(1年)
 - ・今日のドライポイントの活動で、私は初めて制作したのですが、有意義で楽しい活動になりました。私は2回刷ることができたのでよかったです。凸版以外のことも新しく知ることができたので勉強になりました。彫ったりインクを詰めたりしているときも楽しく、今までの版画に対してのイメージも変わりました。今日は本当にありがとうございました。(2年)
 - ・ニードルで彫るのは初めてでしたが、意外とうまくできたのでよかったです。1回でも刷ることができたのでよかったです。今日は楽しい活動をしてくださりありがとうございました。
 - ・初めての挑戦で少し不安でしたが、うまく刷ることができて嬉しかったです。また挑戦してみたいです。
- また、今までは凸版しか知りませんでしたが、今回凹版というものを初めて知って、版画のことをもっと知りたいなと思いました。平版や孔版についても調べてみようと思います。今回学んだことを忘れないように、また、これからの活動に生かしていきたいと思います。今日は楽しかったです。本当にありがとうございました！(2年)
- ・初めてニードルを使ってみて、きれいに線を引くことができよかったです。また、1回でもインクを使って刷れたのでよかったです。今日は楽しい活動をしてくださりありがとうございます。(2年)
 - ・インクのやり方を教えてくださって分かりやすかったです。(2年)
 - ・インクをのせるときのコツを教えてくださりありがとうございます。とても分かりやすかったです。(2年)
 - ・ニードルが難しかったですが、けずるところも刷るところも楽しかったです。また参加してみたいと思いました。(2年)

- ・分かりやすく指導してくださってありがとうございました。意外と上手にできました。楽しかったです。ニードルは、コツをつかむのに時間がかかったけど慣れたらするする彫れました。(2年)
- ・見ながらできたのでとても楽しかったです。何を描くか決めていなかったなので、次は決めてから参加したいと思いました。勉強になりました。ありがとうございました！(2年)
- ・今日はあまり声が出ず、先生方に少しばかりの苦勞をさせてしまったと思いました。他校の生徒や教育委員会の方々など学校内で関係をもたない人たちと一緒に部活動をするのは初めてでとても楽しいと感じました。先生方のしっかりとしている教えやアドバイス、声をかけていただくなど、とても有意義な活動でした！また参加させていただきたいと思ったので、今回はまた知識力を上げて美しいドライポイントを制作できるよう頑張ります。(1年)
- ・今回はドライポイントの指導をしてくださりありがとうございました。版画は学校でもやったことはあるのですが、その中にも様々な種類があることを初めて知りました。最初に刷った方は茶色が余分に入ってしまったいましたが、周りの人が「これもいいね」とほめてくださって正確にやることだけが美しさではないと感じました。(1年)

【午後の部】

- ・前回の合掌土偶のときも参加させていただきました。相変わらずすごく楽しく活動できたなと思います。難しかったところもあったけど、とても分かりやすく説明してもらいました。次回もこのような機会があったら参加させていただきたいなと思います。ありがとうございました！(1年)
- ・とっても楽しかったです。時間内に終わらなかったけど、もっとやりたくなりました。(1年)
- ・教えてくださった皆さん、とても分かりやすく説明してくれたり優しく接してくれたりしてよかったです。ありがとうございました。(1年)
- ・今日やって分かったことは、影のところをしっかりとけずることと刷るときに汚れをしっかりと拭くことです。分かりやすかったです。(1年)
- ・初めてだったけど丁寧に教えてもらえたおかげで上手にできて嬉しかったです。ありがとうございました。下絵を彫ったりインクをつけたりするのはとても楽しかったです。(1年)
- ・初めてだったけどうまくできてとても良い経験になりました。けずっているときは、肩が疲れて大変だったけど、いつか何かに生かせそうです。(1年)
- ・今日は指導をしてくださりありがとうございました。分かりやすくて優しく教えてもらってよかったです。活動、とても楽しかったです。(2年)
- ・ドライポイントを今回初めてやりました。小学校でやった版画と少し違いました。インクをのせたり、機械を回したりするのが難しかったけどうまくいってよかったです。ニードルでカリカリと彫るのにすごくはまって夢中になりました。今度は少し難しいものもやってみたいと思いました。今日は本当にありがとうございました。(1年)
- ・分かりやすくて、けずるのが楽しかったです。けずるときの強弱でインクの濃さが変わるので、強弱の付け方が難しかったです。また参加してみたいと思いました。(1年)

4. 成果と課題

【成果】

- ・今回は凹版に取り組んだが、参加生徒全員が版画は小学校以来ということであり、さらに凹版は初めてということで、興味をもって取り組む姿が見られた。回答者24人中23人が楽しかったと答えている。
- ・前回の「合掌土偶づくり」では、15人の参加者のうち、1,2年生は9人だったが、その中の6人が今回も参加した。1回目、2回目と同じ生徒が参加していることから、少しずつではあるが、合同部活動ならではの良さを理解してもらっていると感じる。
- ・制作場所や道具の都合で、定員は16人が限度であったが、午前と午後の2回開催としたことで、申込者28人を受け入れることができた。(当日、発熱により2人欠席)
- ・美術部や総合文化部の生徒は、普段から土日の活動をする機会が少ないため、地域と連携して体験学習の機会を提供することは有意義である。
- ・他校の生徒と一緒に活動することで、よい意味での緊張感を味わうとともに他校の生徒作品から刺激を受けていた。

【課題】

(1) 活動の周知

- ・活動の周知については、前回よりも早めに内部メールを活用した。前は4校からの申し込みがあり、今回は5校から生徒が集まった。普段から土日の活動が少ない美術部や総合文化部の子どもたちではあるが、お知らせだけでも周知してもらえようと呼び掛けていきたい。

(2) 参加費用

- ・材料費が必要な場合について、今後に向けて考える必要がある。

(3) 会場までの送迎

- ・今回は八戸市美術館で開催したが、保護者の送迎ができないという理由で参加できない生徒がいたと聞いた。保護者の送迎が無理な場合、ほとんどの生徒は公共バスや電車を使用することをしない。徒歩圏内の学校からの申し込みは1校だけだった。

(4) 活動時間・日程

- ・制作する題材によっては、部活動時間である3時間内で完成することが難しい場合もある。今回も刷る段階まで進めることができない生徒がいた。子どもたちには、本人の納得する作品を制作してもらいたいので、早く制作するようにと促すことはしていない。専門的な知識を伝えたり、本人のペースで制作したりするためには十分な時間の確保も必要である。次回は、二日間日程での活動も試行してみたい。

(5) 顧問の関わり方

- ・引率が無理な場合でも他校の教員がいる場合は、保護者引率として他校の教員と連携して取り組むことで負担軽減につながると考える。顧問からのアンケートにもあるように、顧問が引率するから安心して参加させることができるという保護者からの御意見もあるので、安心して参加できるような活動を目指していきたい。

(6) 保険関係

- ・引き続き、野外活動届を速やかに提出してもらえようように早目に呼び掛ける。

自治体名	八戸市教育委員会	担当課：学校教育課
------	----------	-----------

1. 事業の概要について

（１） 基本情報（令和6年4月末時点）

①中学校数	24	②生徒数	5,385人	③部活動数	運動部 229
					文化部 49

（２） 実施日時・場所

令和6年11月16日（土） ・ 八戸市東運動公園陸上競技場

（３） 実践内容 「八戸市合同部活動（陸上競技）」

（４） 目 的 ①八戸市内の中学生が合同部活動を通して地域指導者から専門的・技術的な指導を受けることができる。

②各校の生徒同士が切磋琢磨し、友情を育てるとともに、各種目の基礎・基本を確認したり記録を測定したりして今後の活躍を目指す。

2. 参加者の声 市内16校 180人中 180人が回答

【（１） 顧 問】

Q1 今日の生徒の活動はどうでしたか？	ア とても意欲的に活動。	10
	イ どちらかというと意欲的。	4
	ウ あまり意欲的ではなかった。	0
	エ 意欲的ではなかった。	0
	オ その他	0
Q2 生徒の意欲、技術向上につながりそうですか？	ア つながりそう。	9
	イ どちらかというとつながりそう	5
	ウ あまりつながらない。	0
	エ つながらない。	0
	オ その他。	0
Q3 平日の活動に生かされる内容がありましたか？	ア とても多くあった。	11
	イ どちらかといえばあった。	3
	ウ あまりなかった。	0
	エ なかった。	0
	オ その他	0

Q4 良かった点

- ・ 普段、消極的、内向的な生徒が生き生きと活動していたこと。
- ・ 大会ではいろいろと話せない先生方と情報交換ができたこと。

・「他校生と共にやれる」と生徒が喜んでいました。モチベーションが上がります。 ・小規模校のため定番的なメニューが多いが、本日の練習メニュー、競技ごとの観点が広がったこと。 ・現役選手から指導を受けることができる点がよかった。 ・生徒が充実した時間を過ごしている。 ・技術指導における顧問の負担が軽減された。 ・部門毎に分かれて細かい内容を教えてもらえる。 ・他校の生徒からの学びがある。 ・他校生との関わり（適度な緊張感）。 ・専門学生の指導による見本等が効果的であった。 ・地域人材の有効活用が必要。 ・指導者（大学生）にも指導力向上（社会性スキルアップ）の良い機会。 ・生徒間の人間関係の構築にプラスになる。 ・専門スタッフの技術指導が受けられる。 ・他校の生徒と関わりがもつことができた。 ・専門的な指導を受け、とてもよい刺激になった。 ・他校生の練習の取り組み方を見たり一緒に練習したりすることで、自分たちの取組を振り返ることができる。 ・今後、体力アップや筋力トレーニング等を室内で出来ることを指導していただければと思います。	
Q5 実施内容についての要望 ・何年も前から県大会へ行くと八戸勢が決勝に残らず残念な思いをしていたが、各ブロックの専門の方がこうして教えてくださるのはとてもありがたいです。特に陸上競技の場合は（種目練習に入ると）顧問が全く見る事が出来ないの、時々このような企画をやってほしい。ありがとうございました。（大学生の皆さんも忙しい中だったとは思いますがよい経験になったことと思います。） ・合同部活動としての内容（日々の練習） ・基本的なトレーニング（ドリル・補強等） ・コミュニケーションを取りながらのトレーニング（ペアでの補強等） ・月1回（月末）程度の定期開催 ・学校申し込みから生徒個人による申込みにすることで教員の負担が減るのではないのでしょうか。 ・地域移行をするために部活動から陸上クラブという活動には出来ないのでしょうか？ ・継続的に行う事業として、全体の底上げをねらう事業として今後も進めてもらいたい。 ・会場までは保護者の協力が必要なため、参加できない生徒もおり回数が増えるといよい。また、定番化していくと顧問の負担が軽減される。	
Q6 今後に向けて ・また、第2回、第3回と冬季だけでもお願いしたいです。 ・クリニックのような企画もあると良いと思います。 ・大変貴重な時間をありがとうございました。ぜひ、継続してください。 ・非常に有意義な時間でしたので、継続して開催していただきたいです。	

- ・継続できるとありがたいです。
- ・平日実施の在り方も考えてほしい。
- ・特定に人にだけ負担がかからないような運営になればよいのではないのでしょうか。
- ・シーズンハイ、シーズンオフの時で練習会があるとよい。
- ・テスト週間と重ならないようにしていただければ、参加人数も増えると思う。
- ・地域移行を行っていく動きを進めてもらいたい。
- ・協力できる分はするが、協力してほしい方々や団体もあると思う。(連盟・協会等)

Q7 その他

- ・回を重ねて気づいたことが共有されていくとよいと思います。
- ・大変お疲れ様でした。次回もよろしくお願いします。
- ・最初は表情が硬かったが徐々に和らぎ、よい雰囲気で活動が出来ていました。
- ・市内生徒の技術力向上にもつながります。
- ・合同部活動はよい取組だと思うし、そうなっていくだろうと思います。八戸市もスピード感をもって進めてほしい。

【(2) 生徒】

① 活動場所までの交通手段	ア 徒歩	4 5
	イ バス	4
	ウ 自家用車	1 2 7
	エ その他	4
② 今回の活動はいかがでしたか？	ア 有意義だった。	1 1 6
	イ 楽しかった。	1 2 9
	ウ また参加してみたい。	1 0 1
	エ つまらなかった。	0
	オ その他。	4
③ 次回の活動で指導してもらいたいことはありますか？	ア 専門的な指導。	9 5
	イ 日頃の練習方法。	1 2 7
	ウ 陸上の楽しさ。	5 4
	エ 特になし。	5
	オ その他	6

3. 感想から(生徒)

【短距離】

- ・とてもよい指導ありがとうございます。
- ・今日学んだスタート練習をこれからの練習でも取り組みたいです。
- ・とても楽しかった。いつもの部活よりおもしろく、やったかいがあったのでよかったです。
- ・スタブロなど、個別に教えてくれてありがとうございます。
- ・リレーのバトン受け渡しデモンストレーションは素晴らしかった。
- ・とても分かりやすく楽しく教えてくださってよかったです。
- ・いつもより充実した部活動だったので有り難かった。これからの活動も頑張りたいです。

- ・分かりやすかった。実際にやってみてくれたし、出来ないところを詳しく教えてくれたりしてありがとうございました。
- ・いつもの部活より短く感じ、「もっと長くやりたい。」と思うくらい楽しく、おもしろかった。
- ・大学生のリレーのバトンパスがすごかった。今日学んだことを意識して部活をしていきたい。
- ・普段の部活では教えてくれる人がいないので、教えてもらってよかった。
- ・陸上の楽しさが分からず、そろそろ辞めようかと思っていましたが、今回の合同部活動は楽しかった。「もう少し頑張ります！」ありがとうございました。
- ・今日は指導してくださりありがとうございました。すごく分かりやすかったです。
- ・とても分かりやすく、これからの参考になりました。また、教えてほしいです。
- ・とても参考になりました。スタブロの飛び出し方、大きく出られる方法を教えてほしい。
- ・Cステップとかうまく出来なかった時に優しく教えていただきありがとうございました。
- ・とても分かりやすく教えてくださり助かりました。また次の機会を楽しみにしています。
- ・スタートの仕方、Aステップなど教えてくれてありがとうございました。
- ・陸上の楽しさを感じることができました。
- ・これからの練習に今日のことを取り入れていきたいです。
- ・今後の練習に使えることやもっと速く走れるコツなどを知れてよかった。
- ・楽しく練習を教えてくださりありがとうございました。
- ・ご指導いただき、ありがとうございました。楽しく練習することができました。
- ・普段とは違う練習方法や考え方があったので、今後取り入れたい。知らないこともあったので助かりました。(Q) 股関節を伸ばすとは、どういうことですか？
- ・アップやスタートを重点的にやってくれて助かった。もっといろいろな練習をやりたい。
- ・学校とは違う練習だったけど、指導が分かりやすく楽しかった。
- ・Aステップ、Cステップやスタブロのやり方を優しく教えていただきありがとうございました。
- ・説明が分かりやすく、とても参考になりました。習ったことを生かし頑張ります。
- ・基礎をたくさん学べたし、特にスタートの仕方は自分でも練習してうまくなりたい。
- ・自分の苦手なところがたくさん見つかった。これから練習し頑張りたい。
- ・他校の生徒と一緒に練習できよかった。もっと練習会を増やしてほしい。
- ・大学生の方が分かりやすく優しく教えてくれて楽しかった。スタブロがうまくなったので嬉しいです。また教えてください。大学生の皆さん、陸上頑張ってください。
- ・100mでのスタートでは背中を丸めないことが大切だと知ることができた。
- ・アップなどの仕方を教えてくださって勉強になりました。ありがとうございました。

【中・長距離】

- ・しっかり練習できたし、他校の人との交流や仲も深まったのでよい機会になりました。最後の鬼ごっこも楽しかったです。今日もらったアドバイスを日頃の練習でも生かせるようにしたいです。教えてくださってありがとうございました。
- ・いつもの練習と違った練習ができ楽しかったです。
- ・教えるのがうまかった。次回は時間を増やしてほしい。
- ・とても楽しかった。次回も参加したいです。
- ・楽しみながら陸上のことについて学ぶことが出来てよかった。これからの学校の練習にも生かしていきたい。
- ・基本の動きからアップの仕方などを、しっかり知ることができ最後には先生たちと鬼ごっこを

して体力づくりや基本を学ぶことが出来たので、とても有意義な時間になりました。

- ・楽しかったです。これから冬になるので、今日教えていただいた筋トレとアップを大切にしたいです。
- ・とっても楽しかったです。時間いっぱい練習したいので、休む時間がもっと短い方がよい。
- ・楽しい指導ありがとうございました。また参加したいです。
- ・ハードルで気を付けることが分かりました。きついところもあったけど、とても楽しかったです。次回も参加したいです。
- ・めちゃ楽しかったです。自主練の仕方、基礎トレとかどんな感じでやればよいか分かった。
- ・他校の人とも関わる事ができて良かったです。とても楽しい部活動でした。陸上がもっと好きになりました。ありがとうございました。
- ・生徒と同じ目線で接してくれて楽しかったです。またいっぱい走りたいです。最高でした。
- ・いつもより分かりやすく、楽しく出来る事がたくさんあってやりがいがありました。的確に指導してくださって、すぐに実行できてとても良かったです。
- ・最初は緊張したいたけど、やっているうちに楽しくてあっという間の3時間でした。他校の人と交流することがなかなかないので、いい経験になりました。今回の練習メニューを普段の練習にも加え、他の種目の人などにも伝えていきたいです。次回の活動にも参加したいです。ありがとうございました。
- ・ミニハードルの練習が良かったです。
- ・最初、怖かったけど他校生との交流ができて楽しかった。
- ・ハードルを初めて使ってみて、これからの練習でもやろうと思いました。またお願いします。
- ・次回ではタイムを測りたいです。今日は楽しい時間をありがとうございました。

【障害（ハードル）】

- ・もっとスピードが速く出来るようになる方法が分かった。楽しかったのでまた参加したい。
- ・ハードルドリルがとても難しかったけど「大丈夫だよ。」と優しく声をかけてくれて、やりやすかったです。とても楽しかったです。
- ・ハードルを教えてもらい、アドバイスももらって、とても楽しく練習に生かせるようなことを学べました。また、機会があったら参加したいです。ありがとうございました。
- ・指導内容は難しかったけど、楽しかったし学びになりました。
- ・3歩で走るのとは今までは本番の距離でやろうとしていたけれど、これからは短くしてやってみようと思います。スピード、勢い、リズムなど意識して頑張ります。
- ・3歩で跳んでいた時に、「もっと姿勢をこうした方がいいよ。」と分かりやすく説明してくれてやってみたら、うまく出来て嬉しかった。
- ・ハードルの跳び方の説明が分かりやすかったです。ありがとうございました。
- ・自分の課題を見付けることが出来ました。とても楽しかったです。またお願いします。
- ・ハードルで分かりやすく教えてもらいイメージが付きやすかったです。
- ・ハードルドリルを教えてもらい、学校でもやってみようと思います。新しい友達もでき楽しかったです。ありがとうございました。
- ・ご指導ありがとうございました。ご活躍されている皆様から教えていただいたことを練習でも頑張っていきます。楽しかったです。皆様もお体に気を付けて頑張ってください。
- ・ストレッチなど今までやったことのない練習もあり、今日やったことを家でも頑張りたい。

【走高跳】

- ・もっと交流を深めたい。
- ・厳しいと思っていたけど、分かりやすく楽しい練習でした。大学生の人は明るく、優しかったのでとても練習しやすかったです。ありがとうございました。
- ・コツなどを分かりやすく教えてくださりありがとうございました。これからの練習で生かしていきたいと思います。ありがとうございました。
- ・分かりやすい指導をしてくれたおかげで、より高跳びに興味をもつことができました。また、他校生との交流があり楽しかったです。また教えてください。
- ・学校ではなかなか教えてくれる先生がいないので、専門的な指導が受けられなかったけど、今回専門の学生さんに指導してもらい、助走の測り方、リズム、冬期の練習等を教わる事が出来ました。また、教わる機会があれば参加したいです。ありがとうございました。
- ・分かりやすく指導してくれてありがとうございました。
- ・今日聞いた、外で出来ない日にやれる練習方法も参考にしようと思いました。優しく接してくれて嬉しかったです。ありがとうございました。
- ・すごく分かりやすい指導で高跳びが楽しく感じました。記録を伸ばすよう頑張ります。
- ・知らなかったことを教えてもらい、練習方法も聞いたのでこれから出来そうなことがいっぱいありました。今後の練習で生かし頑張りたいです。
- ・楽しく出来たので、次回も教えてください。これからも頑張ってください。
- ・歩数の測り方を知ることができよかった。冬期間の練習に生かしていきたい。
- ・最初はかなり厳しい練習をやらされるかと思っていたけど、優しく、分かりやすく、ちゃんとほめてくれ、楽しい時間でした。ありがとうございました。
- ・今回はこのような大切な機会をつくってくださり、本当にありがとうございました。普段出来ないような跳び方や冬の練習のバウンディングを教えてください、ありがとうございました。
- ・実施にやって見せてくれ、個人的な相談にも親身になって丁寧に対応してくださってありがとうございました。また、教えてもらいたいです。

【走幅跳】

- ・踏みきりで意識することをたくさん教えていただきありがとうございました。これから冬期間に入るので練習に生かしていきたい。
- ・跳ぶときのフォームを教えてください。
- ・跳ぶときの姿勢、目線の位置など教えてくださいありがとうございました。
- ・学校ではあまり教えてもらうことが出来ない細かいことを教えてもらった。僕は幅跳びのライバルがいて勝ちたいので、今日の練習で教えてもらったことを生かして記録を伸ばし勝ちたいです。いろいろなことを教えてくださいありがとうございました。
- ・準備運動、高く跳ぶコツ等、今回の練習でたくさんを学びました。
- ・指導がとても丁寧で分かりやすかったです。おかげで距離が伸びたような気がします。次回も参加し、棒高跳びにも生かしていきたい。
- ・技術的なものや、コツをしっかり学ぶことが出来ました。また、専門的なドリルを普段の練習に取り入れたいと思います。今日はありがとうございました。
- ・今日は楽しかったです。距離が伸びました。説明の時に後ろにいたのですが、説明が聞こえな

い時があったのでマイクを使ってほしい。

- ・足の位置、姿勢の説明がありとてもイメージしやすかったので跳びやすかったです。
- ・一つ一つの動きを丁寧に教えてくれて分かりやすかった。
- ・今回の活動で記録が伸びた気がします。また、指導をお願いします。
- ・幅跳びの踏みきり方を分かりやすく教えてくれたこと、嬉しかったです。
- ・踏みきり方や助走のポイントが分かりました。最後に記録を取ってもらいたかった。
- ・大会では1500mに参加していたので幅跳びの練習は初めてでした。分かりやすい説明で勉強になりました。また参加したいです。
- ・着地の仕方、一番遠くへ跳べる歩数等を教えてほしい。
- ・初めてやる練習もあり楽しかった。
- ・コツをたくさん教えてくれてありがとうございました。日々の練習に生かしていきたいです。ありがとうございました。

【砲丸投】

- ・投げ方、足の使い方や上半身の使い方を教えてくれてありがとうございました。
- ・投げるときに下半身の筋力が必要なのが分かった。これから筋力をつけたいと思う。
- ・先生方は忙しかったので自分で調べたり、考えたりしないといけなかったけど、今日教えてもらってとても嬉しかったし楽しかったです。
- ・投げ方や補強など必要なものを教えてくださりありがとうございました。
- ・いつも腕でしか投げてなかったのが、上半身・下半身が鍛えられた気がします。
- ・トレーニングの方法や投げるコツなど、いろいろなことを教えていただきありがとうございました。教え方が分かりやすく助かりました。日々の練習に取り入れていきたいです。
- ・自分の悪かったところや知らない事を教えてもらったので、今後の練習につなげたい。
- ・今日の内容を日頃の練習で行ってPB出せるよう頑張りたい。ありがとうございました。
- ・学校では教わらないような専門的なことが多く、初めて知ることが多かったです。これからの練習に生かして頑張りたいです。
- ・投げ方を変えようと思っていたので、今日の練習で教わったポイントを参考にフォーム改造に努めたいです。また、冬期間の筋力アップにもチャレンジしたい。
- ・グライド投法の専門的なことを教えていただきありがとうございました。日頃の練習でも頑張りたいと思います。
- ・グライドの足の使い方が分かったのが、補強にも力を入れていきたいです。ありがとうございました。
- ・学校ではあまりやらない動きもあった。どこを意識してやればいいのか分かって楽しかった。
- ・知らなかったことを知れたし、きつくて楽しかったです。ありがとうございました。
- ・投げ方を教えてくれてありがとうございました。これからも頑張ります。
- ・他校の人たちもいっしょに陸上が出来て、とても楽しかったです。
- ・普段教えてもらえないことを教えていただき、ありがとうございました。今日学んだことをこれからの練習に取り入れ、いい記録を出せるよう頑張ります。

4. 成果と課題

【成果】

- ・他校生と一緒に練習し、また日頃の部活動とは違った雰囲気の中ではあったが、笑顔で楽しく練習に取り組む姿が見受けられた。
- ・各ブロック（種目）で専門的な指導を受けることができ、子どもたちの意欲喚起につながった。
- ・顧問、生徒より継続して実施してほしいという要望が多かった。
- ・合同部活動を試行実施したことにより、具体的な課題を見付けることができた。

【課題】

（１）指導者の確保

- ・今回の合同部活動（陸上競技）では参加者が予想を上回った。八戸学院大学陸上部20人の協力を得ることができたが、他競技で同じような状況になった場合、指導者の確保が難しい状況が予想される。
- ・外部団体（連盟、協会）などをお願いする場合は、組織の特性に合わせて計画を進めることが大切である。
- ・各校の外部指導者、地元大学生を活用していきたい。

（２）会場確保

- ・公共施設（長根、東、南部山等）での土曜・日曜開催で合同部活動を実施する場合、各競技団体の大会等が年間で予定されているため会場確保が非常に厳しい。また、陸上競技場は大会以外での貸し切りをしていないため、シーズン中に今回のように全学校の陸上部を集めての合同部活動実施は非常に難しい。

（４）費用

- ・指導者への謝礼、会場使用料、薬品代、雑費等をきちんと予算化する必要がある。

（５）対象参加者

- ・合同部活動の場合、顧問引率を条件としているが顧問引率が出来ない場合、保護者引率でも参加できるような体制をつくり、今後の地域クラブ化へ向けた準備を進めていく必要がある。

（６）会場までの送迎

- ・約8割の生徒が自家用車で参加であった。親の都合で希望しても送迎が無理という理由で参加できない生徒がいた。

（７）活動時間

- ・学校部活動同様、3時間で計画を立てた。今後も活動時間内（1h～3h）に終われる練習内容で計画していきたい。

（８）顧問の関わり方

- ・今回は大学生が主となって指導を行ったため、顧問はサポートとして参加した。
- ・引率が無理な場合でも他校の教員がいる場合は、保護者引率として他校の教員と連携して取り組むことで、負担軽減につながる。

（９）保険関係

- ・野外活動届を提出しての参加を呼び掛ける。（日本スポーツ振興センター対象）

Ⅲ 今後の検討事項（案）

1 本検討協議会におけるこれまでの協議から

○推進体制の整備、地域クラブ活動の運営主体について

- ・市において、中学校部活動の地域移行に係る推進体制の整備、組織づくり、予算化について検討が必要である。
- ・国が求める「地方公共団体における推進体制の整備」にあるとおり、市長部局、教育委員会が連携し、推進体制の中心、各関係団体等からの相談窓口となる専門部署（課等）を設置することについて検討が必要である。その中で、総括コーディネーターを配置し、人材バンクの運用や地域クラブ活動の運営に係る予算的な支援をしていくことについても併せて検討が必要である。

○地域クラブ活動について

- ・国が示す地域クラブ活動の定義、要件等を踏まえ、市として地域クラブ活動の在り方や考え方を整理するとともに、民間クラブとの区別を明確化することについても検討が必要である。
- ・地域クラブ活動への移行にあたっては、子どもたちへの指導に携わる者（指導者）のみならず、活動を運営する人や団体（運営者）への支援、金銭的な補助について検討が必要である。

○スケジュールについて

- ・アンケートによると、教員の多くは部活動の指導に負担を感じていることがうかがわれる。地域クラブ活動等に移行可能な種目・団体から順次移行していくことが必要である。
- ・現行の学習指導要領では、部活動は「学校教育の一環として、教育課程との関連が図られるよう留意すること」とされており、このことをもって教員が顧問を担ってきた側面がある。現在、文部科学省において次期学習指導要領改訂に向けた動きがあるが、部活動に関する記述次第では、今後、教員が顧問を担うことは難しくなることも想定される。スケジュールの検討にあたっては、このことにも留意して検討する必要がある。
- ・平日の考え方、移行の在り方も念頭に入れた検討が必要である。
- ・スケジュールの周知を一層進めていく必要がある。

○合同部活動について

- ・これまでに実施した活動では、子どもたちの生き生きとした姿が見られている。また、各校における外部指導者の研修の機会にもなり得る。こうしたことから、今後も継続、拡充していくことについて検討が必要である。
- ・大学生を含む指導者（合同部活動アシスタント等）への謝礼、保険加入、会場使用等に係る経費について、今後もしっかりと予算措置していくことについて検討が必要である。
- ・部活動指導に係る教員の負担軽減の観点から、指導を担う教員の数を減らしたり、教員が携わらない形（学校管理下の部活動ではない形）で実施したりする検証の実施について検討が必要である。
- ・美術部及び総合文化部で試行した合同部活動では、在籍校において美術部及び総合文化部に所属していない生徒からも参加を希望する声が聞かれた。今後の地域移行を見据え、当該部活動に所属していない生徒も参加できるような実施方法や手立て（保険加入等）について検討が必要である。

○会費について

- ・地域クラブ活動の実施にあたっては、受益者負担の考え方が原則となることが想定されるが、会費の設定の在り方や行政からの支援等、その考え方について一層の検討が必要である。
- ・これまでの学校部活動では、「公立」学校であることから、家庭の経済的な理由により子どもたちが求めるものを等しく得られないといったことにならない配慮が行われてきた。地域移行後においても、経済的負担がかかるからできない、車がないから参加できないといったことにならないような支援について検討が必要である。

○活動場所について

- ・アンケートによると、活動場所については、子どもも保護者も自分の家や学校から近いところでやりたい・やらせたい、近いところなら参加したい・参加させたいとの声が多数である。このことに着眼しなければ、スポーツや文化活動に取り組む子どもたちがどんどん減少していくことが懸念される。地域移行過渡期にあつては、活動できる場所が地域にあったほうがその先の広がりにつながると考えられることから、これを踏まえた検討が必要である。

○指導者の確保等について

- ・指導者に何かしらの資格を求める、指導者の資格を何かしらの形で保障することにより、保護者も指導者も安心して任せる、任せられるような活動の在り方について検討が必要である。
- ・県が設置した人材バンクの活用の在り方と併せて、市独自の人材バンクの設置の必要性について検討が必要である。
- ・地域クラブ活動において、指導を希望する教員が指導を担うことができるように、兼職兼業に係る考え方や手続きを明らかにすることについて検討が必要である。

○大会運営について

- ・これまで教員が担ってきた各種大会等の運営については、その在り方について関係団体等の協議を進めていくことが必要である。

○その他

- ・現行の学校部活動について、参加は強制ではない。任意であることの一層の周知について検討が必要である。
 - ・地域移行のモデルケースのような形が示されるとイメージ化が図られると考えられることから、これについて検討が必要である。
 - ・指導者の確保等にあたっては、地元企業の参画や各種団体への働きかけ、コミュニティ・スクールの仕組みの活用等について検討が必要である。
- *地域移行の進め方として、前例ができることで次はこの団体、次はこの種目と進めることができると考えられることから、「やれるところから一歩ずつでもスタートする」ことが望まれる。

2 「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」中間とりまとめ等から

今後の検討にあたっては、令和6年12月に公表された「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」中間とりまとめ（最終とりまとめ：令和7年春公表予定）及び「部活動改革に伴う学習指導要領解説の一部改訂について（通知）」を踏まえた検討が求められる。【P40～P44 中間とりまとめ等参照】

※下記の内容は、公立中学校等の生徒を主な対象としたもの

1. 改革の理念及び基本的な考え方等

(1) 改革の理念

- 急激な少子化が進む中でも、将来にわたって生徒が継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保・充実するのが改革の主目的。
(地理的要因や障害の有無等に関わらず、生徒が希望する活動を主体的に選択できる環境の整備を図ることが重要)
- ※改革を実現するための手法を考える際には、学校における働き方改革の推進を図ることや良質な指導等を実現することについても考慮。
- 学校単位で部活動として行われてきたスポーツ・文化芸術活動を、地域全体で関係者が連携して支え、生徒の豊かで幅広い活動機会を保障。
- 生涯にわたってスポーツや文化芸術と豊かに関わる力を身につけることを含めた、スポーツ・文化芸術の役割や意義も尊重する必要。
- スポーツ基本法、文化芸術基本法で、地方公共団体による「地方スポーツ推進計画」、「地方文化芸術推進基本計画」の策定が努力義務とされていることも踏まえ、各地域においてスポーツ・文化芸術施策を総合的に推進する中で、部活動改革も計画的に進められることを期待。

(2) 地域クラブ活動の在り方

- 地域クラブ活動においては、学校部活動が担ってきた教育的意義を継承・発展させつつ、新たな価値を創出することが重要。

＜新たな価値の例＞

- 生徒のニーズに応じた多種多様な体験（1つの競技種目等に専念しないマルチスポーツや、スポーツと文化芸術の融合、レクリエーション的な活動等を含む）、生徒の個性・得意分野等の尊重、学校等の垣根を越えた仲間とのつながり創出、地域の様々な人や幅広い世代との豊かな交流、適切な指導者による良質な指導、学校段階にとわれない継続的な活動（引退のない継続的な活動）及び地域クラブの指導者による一貫的な指導
- 地域クラブ活動の具体的な実施形態や活動内容等は多様な形があり得る。地域の実情等にあった望ましい在り方を見出していくことが重要。
- 民間のクラブチーム等との区別や質の担保等の観点から、地域クラブ活動の定義・要件や認定主体、認定方法等を国として示す必要。

(3) 地域全体で連携して行う取組の名称（「地域移行」の名称変更等）

- 上記の理念や地域クラブ活動の在り方等をよりの確に表すため、「地域移行」という名称は、「地域展開」に変更。

【コンセプト】①学校内で運営されてきた活動を広く地域に開き、地域全体で支えていく。 + ②新たな価値を創出し、より豊かで幅広い活動を可能とする。
※学校部活動から地域クラブ活動に転換した場合であっても、地域クラブ活動の実施に当たって、学校施設の活用等、学校との連携は図る必要。

(4) 改革を進めるに当たっての基本的な考え方

- 上記の理念等を幅広い関係者で共有しなから地域展開等に取り組むこと。 ● 具体的手法は地域の実情等に応じた多様な選択肢を認めること。
- 活動の場を増やすだけでなく、活動内容の質的向上も図ること。 ● 対面とデジタルを最適切に組み合わせるなど新たな手段も最大限活用すること。
- 受益者負担と公的負担とのバランス等の費用負担の在り方を検討し、国・都道府県・市区町村が支え合いながら適切な支援を行うこと。

2. 改革推進期間の成果と課題

- 令和5年度から「改革推進期間」がスタートし、国の実証事業等を通じて、地方公共団体による取組が着実に進歩。既に休日の地域展開を進めている地方公共団体等も存在しており、今後更に改革が進捗していく見込み。
- 地方公共団体の創意工夫により、地域の実情に応じた運営形態のモデルや指導者確保等の課題の解決に向けた方策等も見出されている。
- 他方、改革途上にある地方公共団体等も多い。これまでの改革の歩みを止めず、より一層の改革を進めていくことが必要。そのためにも、国において実証事業等の成果と課題の整理・分析を行い、課題の解決方策等も明らかにし、広く普及していくことが重要。

3. 今後の改革の方向性

- 地方公共団体が幅広い関係者の理解と協力の下、平日・休日を通じた活動を包括的に企画・調整し、多様な選択肢の中から地域の実情等にあった望ましい在り方を見出し、改革の方針を決定することが重要（生徒・保護者等への丁寧な説明も必要）。
※休日の地域展開とともに、平日の地域展開もあわせて、できることから取り組むことなどもあり得る。

改革の進め方	・<u>休日については、次期改革期間内に、原則、全ての学校部活動において地域展開の実現を目指す。</u> ※地域の实情等を踏まえつつ、できる限り前倒しでの実現を目指すことが望ましい。 ※<u>中山間地域や離島など特殊な事情により地域展開に困難が伴う場合等には、国としても、きめ細かなサポートを通じて地域展開を後押し。</u>それでも地域展開が困難な場合には、当面、部活動指導員の配置等を適切に実施。 ・<u>平日については、各種課題を解決しつつ更なる改革を推進。</u>まずは、<u>国において、地方公共団体が実現可能な活動の在り方や課題への対応策の検証等を行うとともに、地方公共団体において地域の実情等に応じた取組を進める。</u>
次期改革期間	「<u>改革実行期間</u>」（前期：令和8～10年度 ⇒ 中間評価 ⇒ 後期：令和11～13年度） ※現時点で着手していない地方公共団体においても、<u>前期の間に休日の地域展開等に着手。</u> ※平日の改革については、前期において活動の在り方や課題への対応策等の検証を行った上で、中間評価の段階で改めて取組方針を定め、更なる改革を推進。
費用負担の在り方等	・地方公共団体において、地域の実情等に応じて安定的・継続的に取組が進められるよう、<u>受益者負担と公的負担とのバランス等の費用負担の在り方等を検討</u>する必要。 ・公的負担については<u>国・都道府県・市区町村で支え合う</u>ことが重要。 ・企業版ふるさと納税やガバメントクラウドファンディングをはじめとした寄附等の活用等、新たな財源の確保も有効に組み合わせていくことが重要。 ・家庭の経済格差が生徒の体験格差につながることもないよう、<u>経済的に困窮する世帯の生徒への支援については確実に措置を行う必要。</u>

※改革を円滑に進めるためには、地方公共団体とともに、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団、体育・スポーツ協会、競技団体、文化芸術団体、社会教育施設、民間事業者、大学、地域の中学校校体育連盟、スポーツ推進委員等と適切に役割分担を行い、幅広い関係者が連携・協働しながら一体となって取組を進める必要。

4. 地方公共団体における推進体制の整備

- 地方公共団体において、専門部署の設置や総括コーディネーターの配置等、適切な推進体制を整備することが重要。
- 都道府県が広域自治体としてリーダーシップを発揮し、市区町村に対して必要な支援をきめ細かく行うことも重要。
- 一つの市区町村における対応が困難な場合には、複数の市区町村による広域連携の取組を進めることも重要。

5. 学習指導要領における取扱い

- 地域クラブ活動は、学校外の活動ではあるものの、教育的意義を有する活動であり、継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保し、学校を含めた地域全体で生徒の望ましい成長を保障するもの。そのため、地域クラブと学校との連携が大切。
- 現時点における地域展開等の進捗状況・見通しを踏まえると、今後、休日を中心に、地域クラブ活動が広く普及・定着していることが見込まれる一方で、当面は、平日を中心に学校部活動が存続する学校も一定程度あることが想定。
- 今後、こうした地域クラブ活動の意義や地域展開の進捗等の実態を踏まえつつ、学習指導要領の次期改訂時にあわせて、学校部活動と地域クラブ活動に関する記載の在り方を検討（具体的な内容については、最終とりまとめに更に検討を深める）。

【各論（個別課題への対応等）】※実証事業における取組・成果の分析等も踏まえ、最終とりまとめまでに更に検討を深める。

1. 地域クラブ活動を担う運営団体・実施主体の体制整備（組織体制・財務基盤の整備、ICT活用による事務処理の効率化等）
2. 指導者の質の保障・量の確保（多様な人材の発掘・マッチング・配置、大学生の活用、指導を望む教師の兼職兼業の推進、ICTの効果的活用、指導者資格の在り方検討、研修の充実、平日と休日の一貫指導（地域クラブと学校の連携強化等）等）
3. 活動場所の確保（学校施設の優先利用・使用料の減免等のルール作り、スマートロック等による鍵の受け渡しの負担軽減、指定管理者制度の活用促進等）
4. 活動場所への移動手段の確保（スクールの有効活用、地域公共交通との連携等）
5. 大会やコンクールの運営の在り方（地域クラブの参加促進、運営体制の整備・運営方法等（教師の引率等の負担軽減等を含む））
6. 生徒・保護者等の関係者の理解促進（効果的な周知・広報等）
7. 生徒の安全確保のための体制整備（事故等の防止、暴力・暴言等の不適切行為の防止、事故等や不適切行為が発生した場合の責任の所在の明確化、生徒及び指導者の保険への加入、地域の専門家のネットワーク化、トレーナーの効果的な活用・資格の在り方検討等）
8. 障害のある生徒の活動機会の確保（体制整備等において考慮すべき特有の事情、障害者対応指導ツールの活用や研修等を通じた指導者の資質・応力の向上等）

部活動改革に伴う学習指導要領解説の見直しについて（概要）

1. 経緯

◆令和4年6月・8月

「運動部活動の地域移行に関する検討会議提言」（6月）及び「文化部活動の地域移行に関する検討会議提言」（8月）（学習指導要領解説の見直しにも言及）

◆令和4年12月

- ・学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン（スポーツ庁・文化庁）
- ・「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」の策定及び学校部活動の地域連携・地域移行に関する関連制度の運用について（令和4年12月27日スポーツ庁次長・文化庁次長・総合教育政策局長・初等中等教育局長通知）

4 学習指導要領解説の見直し等について

- ① このたびのガイドラインの改定を踏まえ、地域クラブ活動の位置付けや学校との連携の在り方等を更に明確にするため、今後、国が行う実証事業等の状況等も踏まえ、学習指導要領解説における関連の記載の見直しを行う予定であること。

43◆令和5年度～

- ・上記の部活動ガイドラインに基づく「改革推進期間」（R5～7）がスタート
- ・「地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業」の実施（運動部活動 R5：339市区町村、R6：510市区町村）

【運動部活動の地域移行の現状・見通し（部活動数ベース）（R6フォローアップ調査結果より）】

＜休日＞ R5（実績）：10% ⇒ R6：21% ⇒ R7：37% ⇒ R8：55%
＜平日＞ R5（実績）：4% ⇒ R6：7% ⇒ R7：13% ⇒ R8：22%

2. 見直しの趣旨

- 実証事業の1年目が終了し、休日を中心に、部活動の地域移行が進捗し、今後も着実に進捗していく見込みである一方で、地方自治体・保護者からは、学校と地域クラブとの連携、平日と休日の活動の指導方針等の連携が課題として挙げられている状況。
- こうした状況を受け、地域クラブ活動の更なる円滑実施に資するよう、現行の部活動ガイドラインの記載をベースに、学校と地域クラブとの連携等に係る記載の追加等を行うことで、学校関係者を含めた共通理解の促進を図る。

※ 学校部活動の位置付けの見直しの要否等については、学習指導要領本体の次期改訂に向け、別途、議論

3. 見直しの概要

(1) 学校と地域クラブとの連携等に関する記載の新設【総則編】 ※中学校・特別支援学校（中学部）

現行の部活動ガイドラインの記載に沿って、地域クラブ活動の位置付け（学校外の活動）や教育的意義等を明確化した上で、以下の内容を記載

- ① 学校と地域クラブとの間での活動方針等の共通理解を図る
- ② 特に、平日と休日で指導者が異なる場合、指導の一貫性を確保する観点から緊密に連携
- ③ 地域で実施されているスポーツ・文化芸術活動の内容等を生徒・保護者に周知

(2) 部活動の現状の位置付けの明確化【総則編】 ※中学校・高等学校・特別支援学校（中学部・高等部）

部活動は、法令上の義務として実施されるものではないことから学校の判断により実施しないこともあり、全ての生徒が一律に加入しなければならないのではなく、生徒の自主的・自発的な参加により行われるもの

(3) 部活動における多様な生徒・ニーズへの配慮【保健体育編】 ※中学校・高等学校

- ① レクリエーション志向の生徒や、運動が苦手な生徒、障害のある生徒など、どの生徒でも参加しやすい活動内容や活動時間等とするなどの工夫を実施
- ② 複数のスポーツや文化・科学分野等の様々な活動も含めて幅広く経験できるよう配慮

（参考）検討スケジュール

- ・10月23日・24日 部活動改革に関する実行会議WG（スポーツ、文化芸術）での審議
- ・10月25日 中教審・教育課程部会での審議
- ・12月10日 部活動改革に関する実行会議での審議

八戸市における中学校部活動の地域移行に関する検討状況等について

八戸市教育委員会
八戸市観光文化スポーツ部

当市では、令和5年4月、「八戸市地域スポーツ・文化活動検討協議会」を設置し、中学校部活動の地域移行を円滑に進めるための協議を行っております。これは、学校単位で行ってきた部活動を地域単位で行えるよう、まずは休日（土日祝日、以下同様）の部活動から段階的に地域移行していくことが示された国の基本方針に則ったものです。

このことについて、検討協議会におけるこれまでの検討状況や目指している方向性についてお知らせします。
なお、今後の検討状況によっては、スケジュール等が見直される場合もあります。
また、検討協議会における協議内容は、市ホームページにおいて公開しておりますので、御参照ください。



【市HPアドレス】：<https://www.city.hachinohe.aomori.jp/soshikikarasagasu/gakkokyoikuka/johkokokai/1/19847.html>】



Q1.「地域移行」を検討しているのはなぜ？

現在の中学校部活動が抱える課題の解消を図り、少子化の中でも子どもたちが継続してスポーツや文化活動に親しむとともに生涯にわたって取り組む土台を培うためです。

中学校部活動が抱える主な課題は、次の3点です。

- ①深刻な少子化にともない、各学校における部活動数、部員数、指導者数が減少し、学校単位での活動が維持できなくなっている。
- ②教員に競技等の経験がなく、専門的な指導が難しい場合があることに加え、生徒の多様なニーズに応じた活動の選択肢が確保できなくなっている。
- ③休日も含めた部活動指導により、教員の長時間勤務が課題となっている。

Q2.「地域移行」の課題は？

検討協議会では、主に次のことに関する課題があげられています。

- ・学校部活動の受け皿となる「地域クラブ活動」の運営団体の在り方
 - ・指導者の確保（指導者の研修、大学生の活用等）
 - ・活動場所の確保（学校施設の活用の在り方等）
 - ・大会の在り方（教員が担ってきた大会運営の在り方、学校単位を前提としてきた大会参加の在り方等）
 - ・会費の在り方（指導者への報酬等）
 - ・保険の在り方
 - ・移行期の在り方（平日の学校部活動との関連等）
 - ・既存のスポーツ・文化芸術活動団体との兼ね合い
- 解決すべき課題が多岐にわたってあげられており、移行にともなう不安感の払拭のためには、一層丁寧に段階を踏む必要があるのではないかと、といった意見が出されています。

Q3. 目指しているスポーツ・文化活動環境のイメージは？

現段階では、既存の総合型スポーツクラブ、クラブチーム、民間事業者等によるスポーツ・文化芸術活動と、学校部活動の受け皿として新たな運営団体が担う「地域クラブ活動」の二本立てを想定しています。

クラブチーム等による
スポーツ・文化芸術活動

地域クラブ活動
(学校部活動の受け皿)

Q4.「地域移行」をどのように進めるのか？

現段階では、次のようなスケジュールを想定しています。

- ①R7年度秋頃～R10年度

休日のみ、複数の中学校による**合同部活動を実施する。**

平日は、これまでと同様に学校ごとの部活動を実施する。

- ②R11年度～

休日のみ、**新たな環境(Q3参照)へ移行する。**

平日は、これまでと同様に学校ごとの部活動を実施する。

合同部活動は、複数の中学校が集まって合同で活動するような形を想定していますが、仕組み等詳細については今後検討を進めることとしています。

Q5. 令和6年度の中学校部活動は？

令和6年度は、検討協議会において、合同部活動の実施等に関する協議、準備を進めていきます。**中学校部活動については、休日も含め、これまでと同様に、各中学校において学校主体で運営、実施します。**市教育委員会では、部活動指導員の配置拡充に努めるとともに、これまでと同様に各校で指導する外部指導者への支援を継続していきます。

【問い合わせ】市教育委員会学校教育課

市観光文化スポーツ部スポーツ振興課

市観光文化スポーツ部文化創造推進課

TEL:0178-43-9153

TEL:0178-43-9159

TEL:0178-43-9156

八戸市における中学校部活動の地域移行[※]に関する検討状況等について

市教育委員会では、令和5年4月、「八戸市地域スポーツ・文化活動検討協議会」を設置し、委員による中学校部活動の地域移行を円滑に進めるための協議を行っております。これは、学校単位で行ってきた部活動を地域単位で行えるよう、まずは休日（土日祝日、以下同様）の部活動から段階的に地域移行していくことが示された国の基本方針に則ったものです。このことについて、検討協議会におけるこれまでの検討状況やこれからの方向性についてお知らせします。なお、今後の検討状況によっては、スケジュール等が見直される場合もあります。また、検討協議会における協議内容は、市ホームページにおいて公開しておりますので、御参照ください。

【市HPアドレス：<https://www.city.hachinohe.aomori.jp/soshikikarasagasu/gakkokyoikuka/johkokokai/1/19847.html>】



八戸市教育委員会
八戸市観光文化スポーツ部



1. これまでの検討状況等について

* 令和5年度

○今後の地域クラブ活動のイメージが委員それぞれの立場で異なることが明らかになり、まずはイメージの共有を図っていくこととした。

○地域クラブ活動への移行にあたり、大会参加の在り方、平日の学校部活動との兼ね合い、保護者負担（会費、送迎等）、大会運営の在り方、指導者の確保等、解決すべき課題が多数あることについて委員から指摘があり、地域クラブ活動への移行に対する根強い不安感が明らかになった。



○児童生徒、保護者、地域社会、関係団体等と今後のイメージを共有し、不安感を払拭して一層円滑に移行を進めるために、前段階のステップとしてまずは合同部活動を実施していくことで意見が一致した。

○複数の中学校による休日の地域連携を図る目的で、市教育委員会主催の合同部活動を実施し、スポーツ・文化芸術活動における地域連携のイメージ化を図るとともに、地域クラブ活動への移行の土台づくりを目指すこととした。

* 令和6年度

○検討協議会において、児童生徒、保護者、教職員を対象とした実態把握のためのアンケート調査を9月に実施した。（アンケート結果概要については、市ホームページ「上記アドレス参照」において公開しておりますので御覧ください。回答への御協力に感謝申し上げます。）

○合同部活動について、美術・総合文化部及び陸上競技部において試行的に実施し、実施に係る諸課題の洗い出しを図ることとした。

～実施状況～

美術・総合文化部…10/5開催、生徒15名参加

12/7開催、生徒26名参加

陸上競技部 …11/16開催、大学生の指導協力あり、生徒180名参加

* 1月以降も美術・総合文化部及び陸上競技部の合同部活動の試行を予定しております。

2. これからの方向性について

* 目指すスポーツ・文化活動環境

現段階では、既存の総合型スポーツクラブ、クラブチーム、民間事業者等によるスポーツ・文化芸術活動と、学校部活動の受け皿として新たな運営団体が担う「地域クラブ活動」の二本立てを想定しています。

クラブチーム等による
スポーツ・文化芸術活動

地域クラブ活動
（学校部活動の受け皿）

* スケジュール

現段階では、次のようなスケジュールを想定しています。

①～R10年度

休日のみ、複数の中学校による合同部活動を実施する。

平日は、これまでと同様に学校ごとの部活動を実施する。

②R11年度～

休日のみ、可能な限り上記「目指すスポーツ・文化活動環境」へ移行する。

平日は、これまでと同様に学校ごとの部活動を実施する。

* 今後の主な検討課題

地域クラブ活動の運営体制の在り方、指導者の質の保障と量の確保、活動場所、保護者負担の在り方、関係者への周知等が挙げられます。

3. 令和7年度の中学校部活動について

令和7年度も、**中学校部活動については、休日も含め、これまでと同様に各中学校において学校主体で運営、実施します。**市教育委員会では、合同部活動の実施種目等の拡充、部活動指導員の配置拡充に努めるとともに、各校で指導する外部指導者への支援を継続してまいります。

【問い合わせ】

（本リーフレット、検討協議会に関すること）市教育委員会学校教育課 TEL:0178-43-9153

（スポーツの振興に関すること）市観光文化スポーツ部スポーツ振興課 TEL:0178-43-9159

（文化芸術の振興に関すること）市観光文化スポーツ部文化創造推進課 TEL:0178-43-9156

※「地域移行」の名称について、国の有識者会議では「地域展開」への変更を検討しております。

八戸市地域スポーツ・文化活動検討協議会委員一覧

【委員任期:令和5年7月4日～令和7年3月31日】

No	氏名	所属 ・ 職
1	木 村 浩 哉	会長 八戸学院大学 地域経営学部 地域経営学科 教授
2	佐 々 木 宏 恵	副会長 八戸市中学校長会 副会長
3	久 保 隆 明	八戸市連合PTA 副会長
4	米 内 正 明	八戸市スポーツ協会 会長
5	目 澤 伸 一	八戸市スポーツ推進委員協議会 会長
6	小 林 智 栄	八戸市文化協会 事務局次長
7	細 越 健 太 郎 【令和6年7月～】	株式会社ヴァンラーレ八戸 代表取締役 会長
8	三 角 浩 司	八戸市小学校長会 会長
9	木 村 政 和 【令和6年7月～】	八戸市中学校体育連盟 会長
10	塩 入 彬 允	公募
11	佐 々 木 敏 文 【～令和6年4月】	八戸市中学校体育連盟 会長
12	沼 上 進 一 【～令和6年4月】	八戸市中学校文化連盟 会長
13	安 田 眞 理 子 【～令和6年4月】	公募

＊ 本検討協議会における検討状況等は、八戸市ホームページ内で公表しております。

【市ホームページアドレス】

<https://www.city.hachinohe.aomori.jp/soshikikarasagasu/gakkokyoikuka/johokokai/1/19847.html>

【QRコード】

